

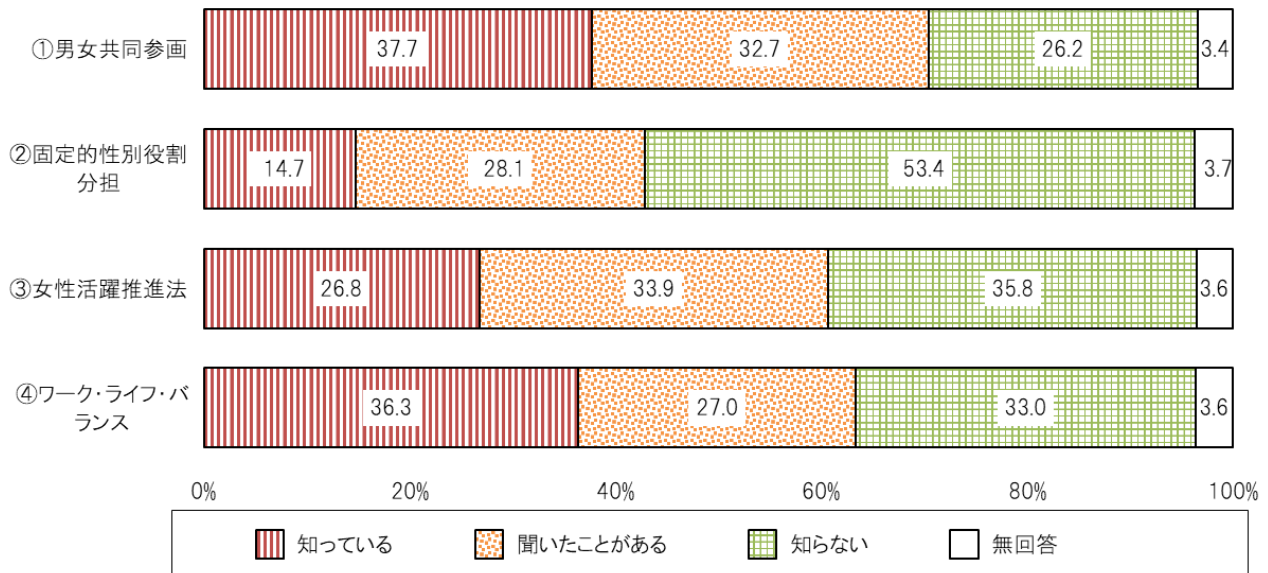
松阪市男女共同参画プラン 策定にかかる意識調査

男女共同参画の意識について

問 35 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ①男女共同参画は「知っている」が37.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」32.7%となっている。
- ②固定的性別役割分担は「知らない」が53.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」28.1%となっている。
- ③女性活躍推進法は「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」33.9%となっている。
- ④ワーク・ライフ・バランスは「知っている」が36.3%と最も高く、次いで「知らない」33.0%となっている。

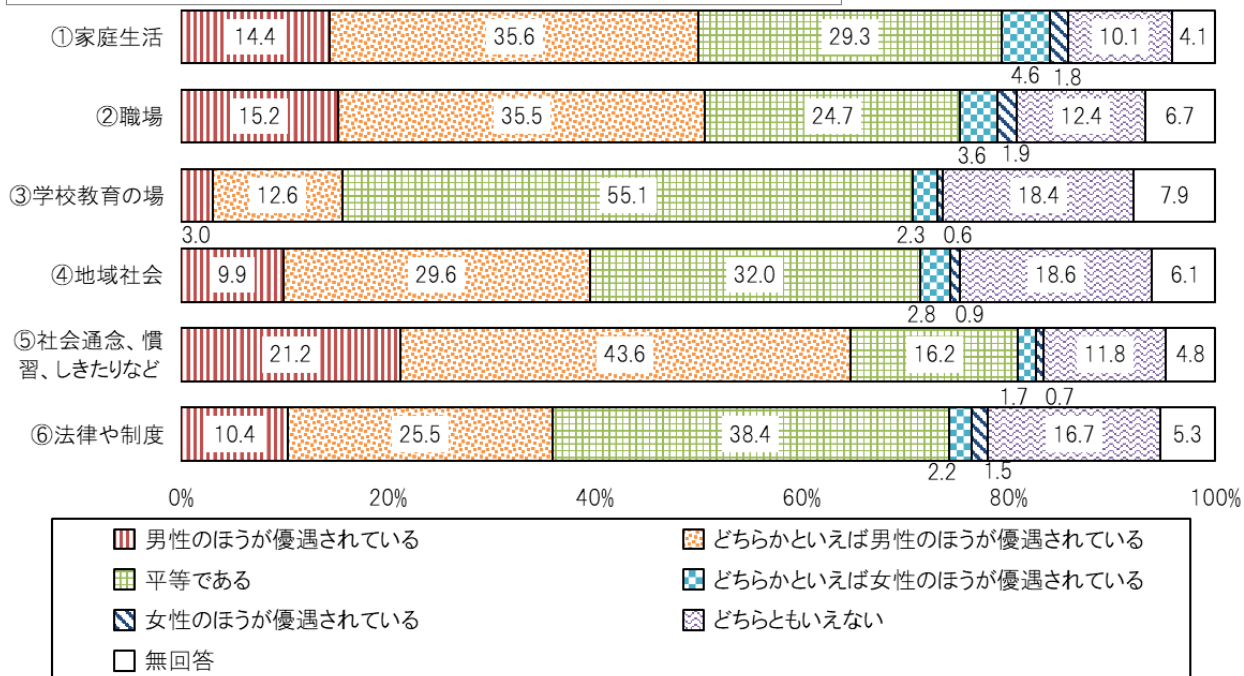
問35 次のことばを知っていますか



問 36 あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
①～⑥の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家庭生活は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.6%と最も高く、次いで「平等である」29.3%となっている。
- ② 職場は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.5%と最も高く、次いで「平等である」24.7%となっている。
- ③ 学校教育の場は「平等である」が 55.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」18.4%となっている。
- ④ 地域社会は「平等である」が 32.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」29.6%となっている。
- ⑤ 社会通念、慣習、しきたりなどは「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 43.6%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されている」21.2%となっている。
- ⑥ 法律や制度は「平等である」が 38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」25.5%となっている。

問36 次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか



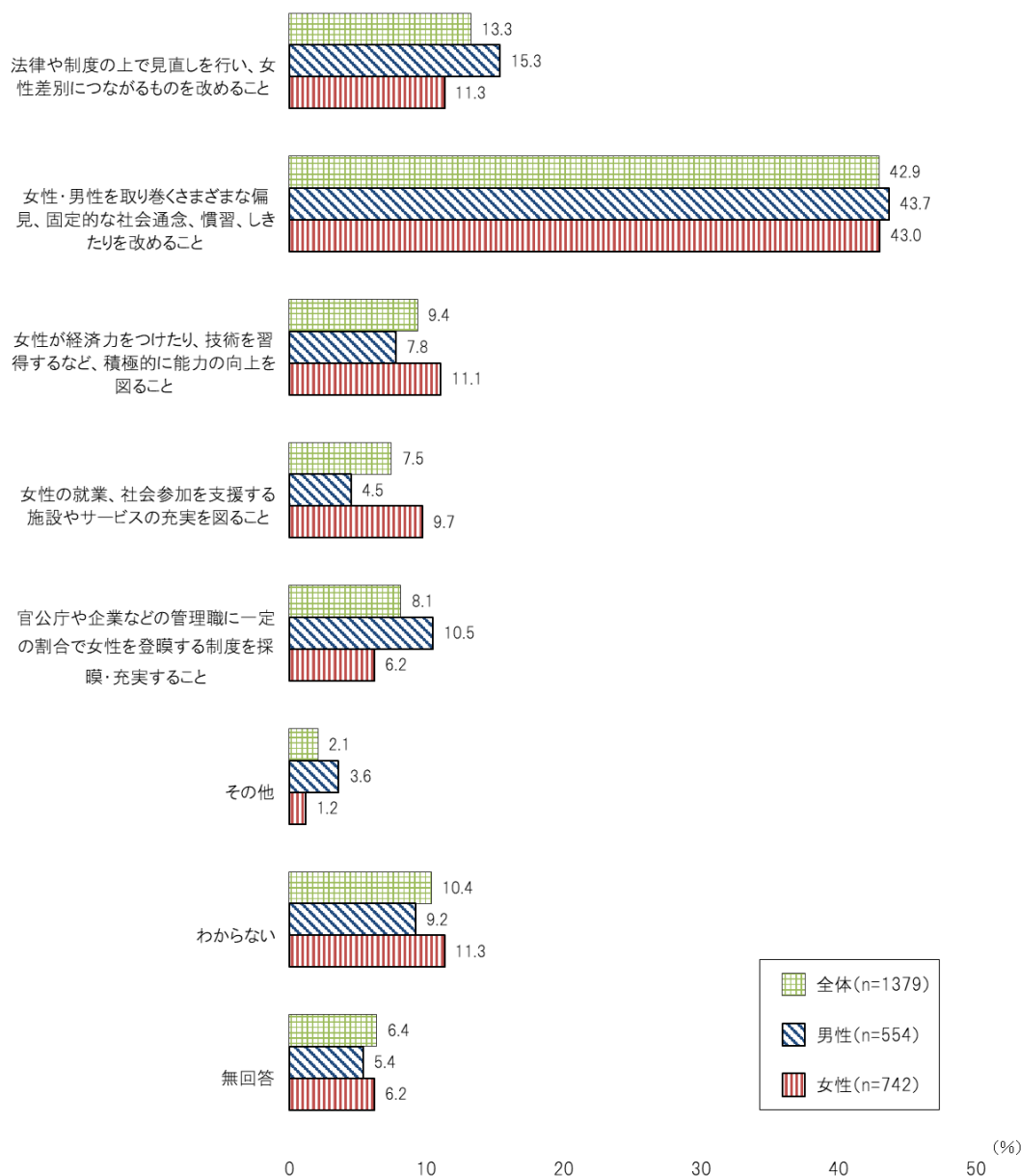
問 37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。（〇は1つだけ）

「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が42.9%と最も高く、次いで「法律や制度の上で見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」13.3%となっている。

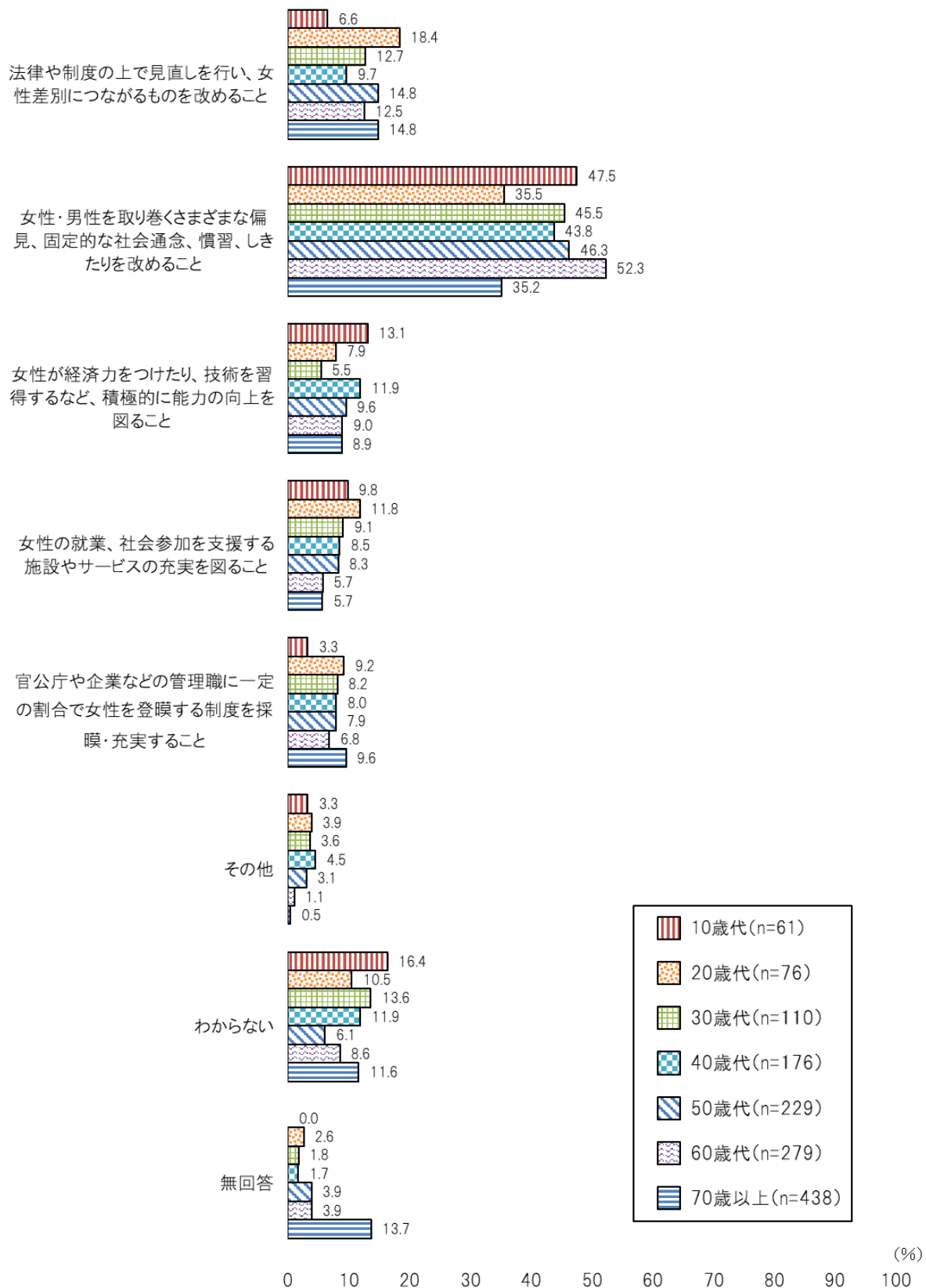
性別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は、男性が43.7%、女性が43.0%で男性の方が女性よりも0.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は60歳代で最も高く52.3%となっており、70歳以上で35.2%と最も低くなっている。

問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか



問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。



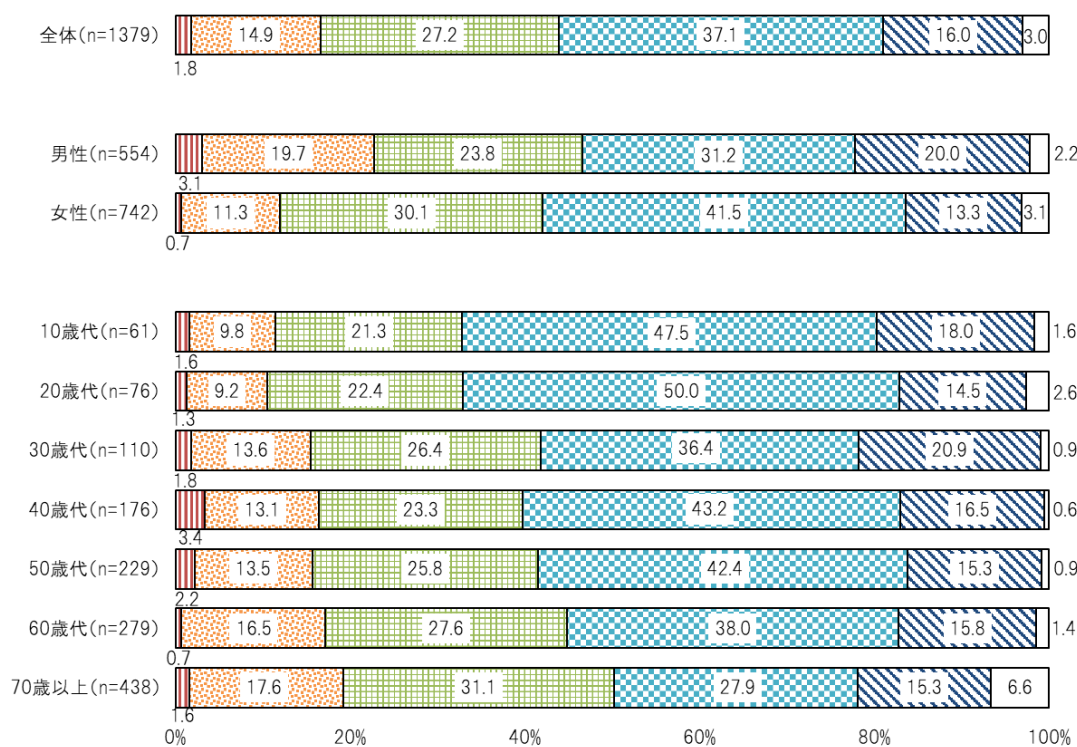
問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。（○は1つだけ）

「反対」が 37.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」27.2%、「どちらかといえば賛成」14.9%となっている。

性別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は、男性が 55.0%、女性が 71.6%で女性の方が男性よりも 16.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は 20 歳代で最も高く 72.4%となっており、70 歳以上で 59.0%と最も低くなっている。

問38「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか

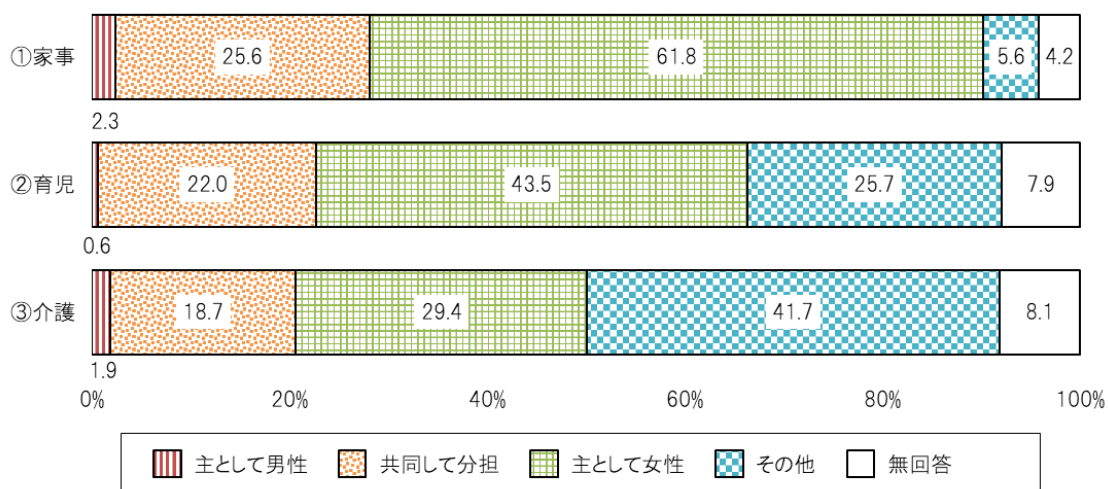


賛成
 どちらかといえば賛成
 どちらかといえば反対
 反対
 わからない
 無回答

問 39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。①～③の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家事は「主として女性」が61.8%と最も高く、次いで「共同して分担」25.6%となっている。
- ② 育児は「主として女性」が43.5%と最も高く、次いで「その他」25.7%となっている。
- ③ 介護は「その他」が41.7%と最も高く、次いで「主として女性」29.4%となっている。

問39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか



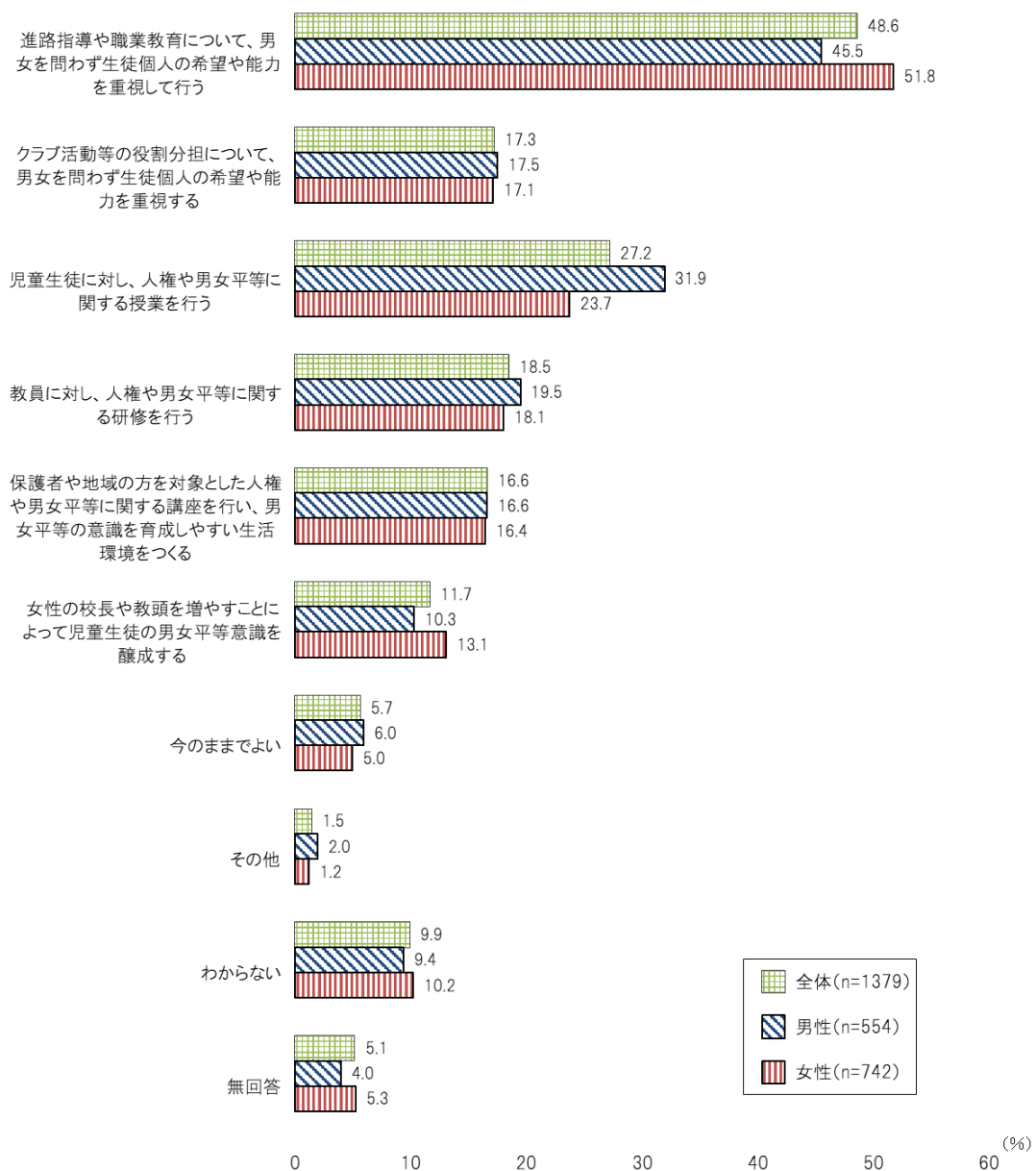
問 40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか。（〇は2つまで）

「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」が48.6%と最も高く、次いで「児童生徒に対し、人権や男女平等に関する授業を行う」27.2%、「教員に対し、人権や男女平等に関する研修を行う」18.5%となっている。

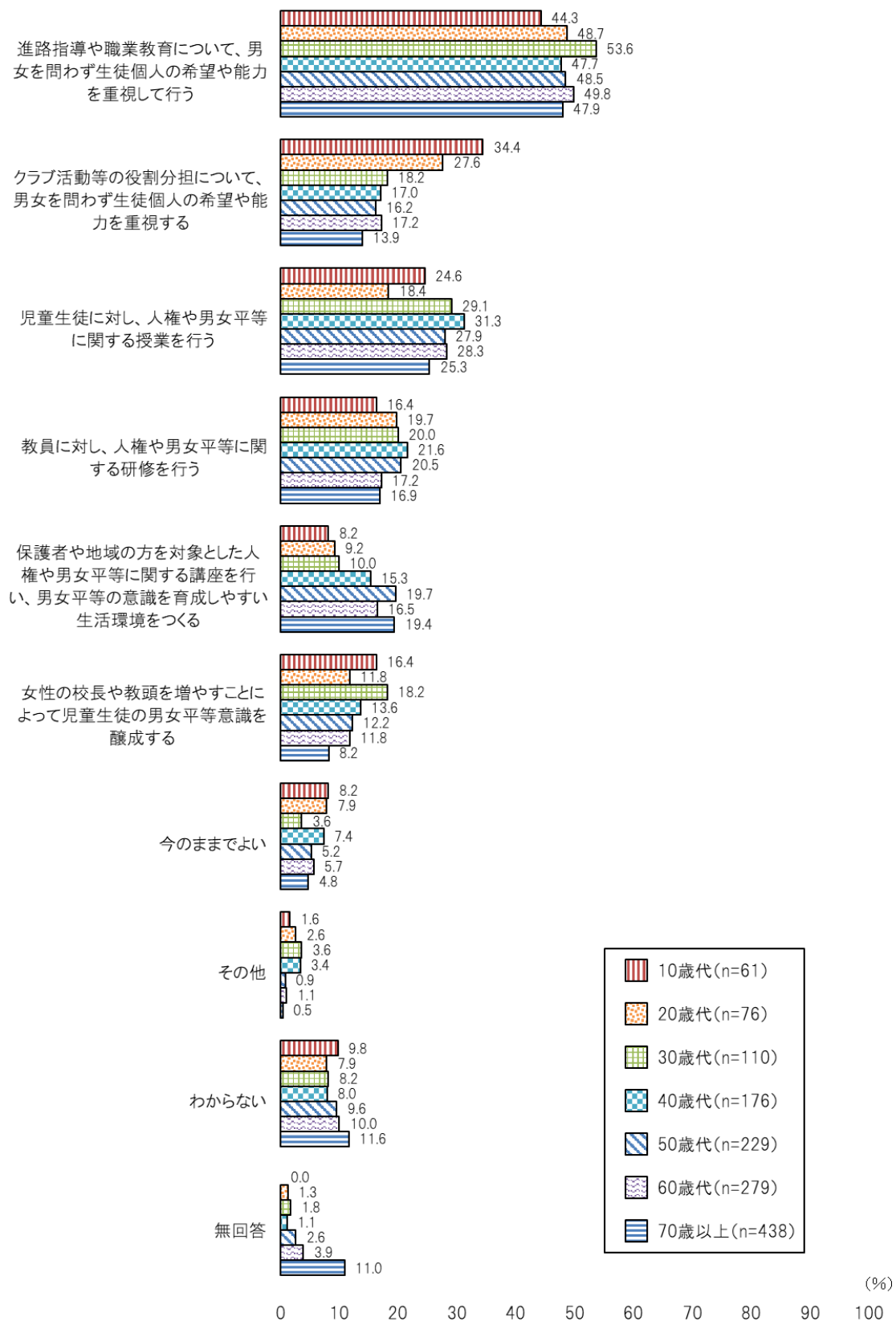
性別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は、男性が45.5%、女性が51.8%で女性の方が男性よりも6.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は30歳代で最も高く53.6%となっており、10歳代で44.3%と最も低くなっている。

問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか



問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか



就労やワーク・ライフ・バランスについて

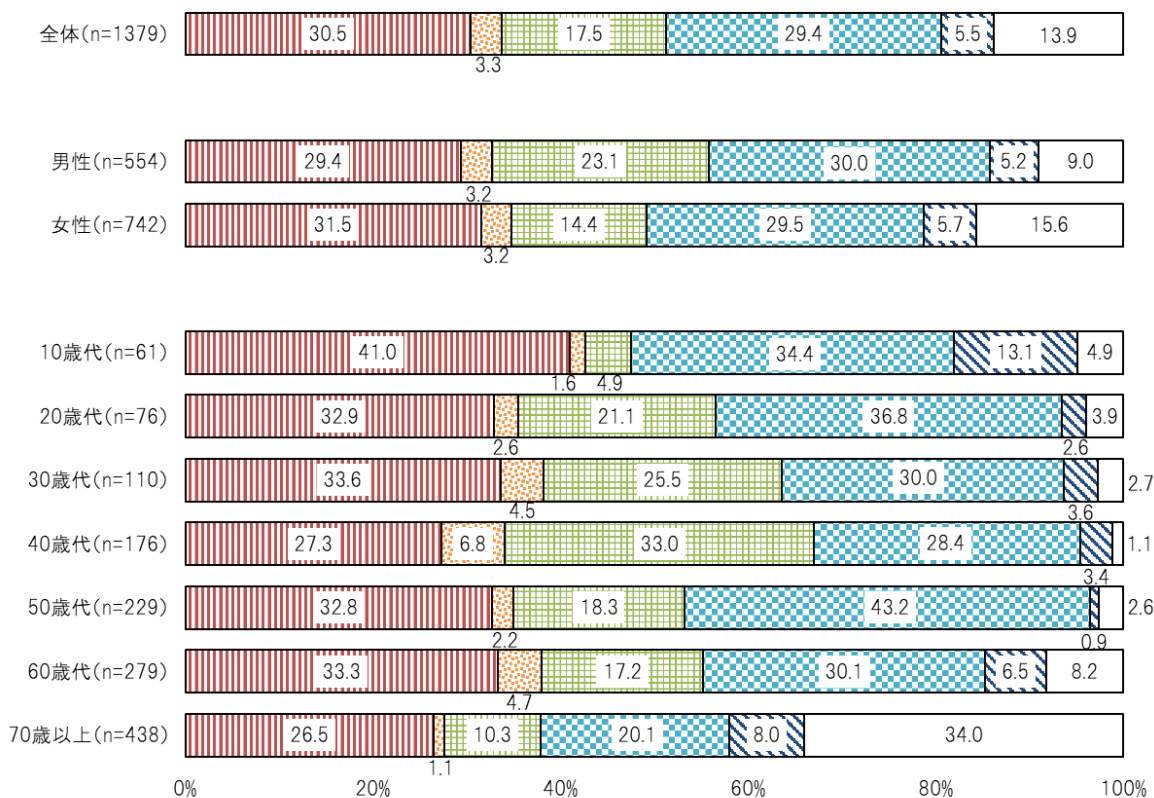
問 41 あなたの思うような仕事と生活のワーク・ライフ・バランスは実現できていますか。（○は1つだけ）

「実現できている」が30.5%と最も高く、次いで「もっと個人の生活を優先したい」29.4%、「もっと家庭生活を優先したい」17.5%となっている。

性別にみると、「実現できている」の割合は、男性が29.4%、女性が31.5%で女性の方が男性よりも2.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「実現できている」の割合は10歳代で最も高く41.0%となっており、70歳以上で26.5%と最も低くなっている。

問41 あなたの思うような仕事と生活のワーク・ライフ・バランスは実現できていますか



実現できている
 もっと仕事を優先したい
 もっと家庭生活を優先したい
 もっと個人の生活を優先したい
 その他
 無回答

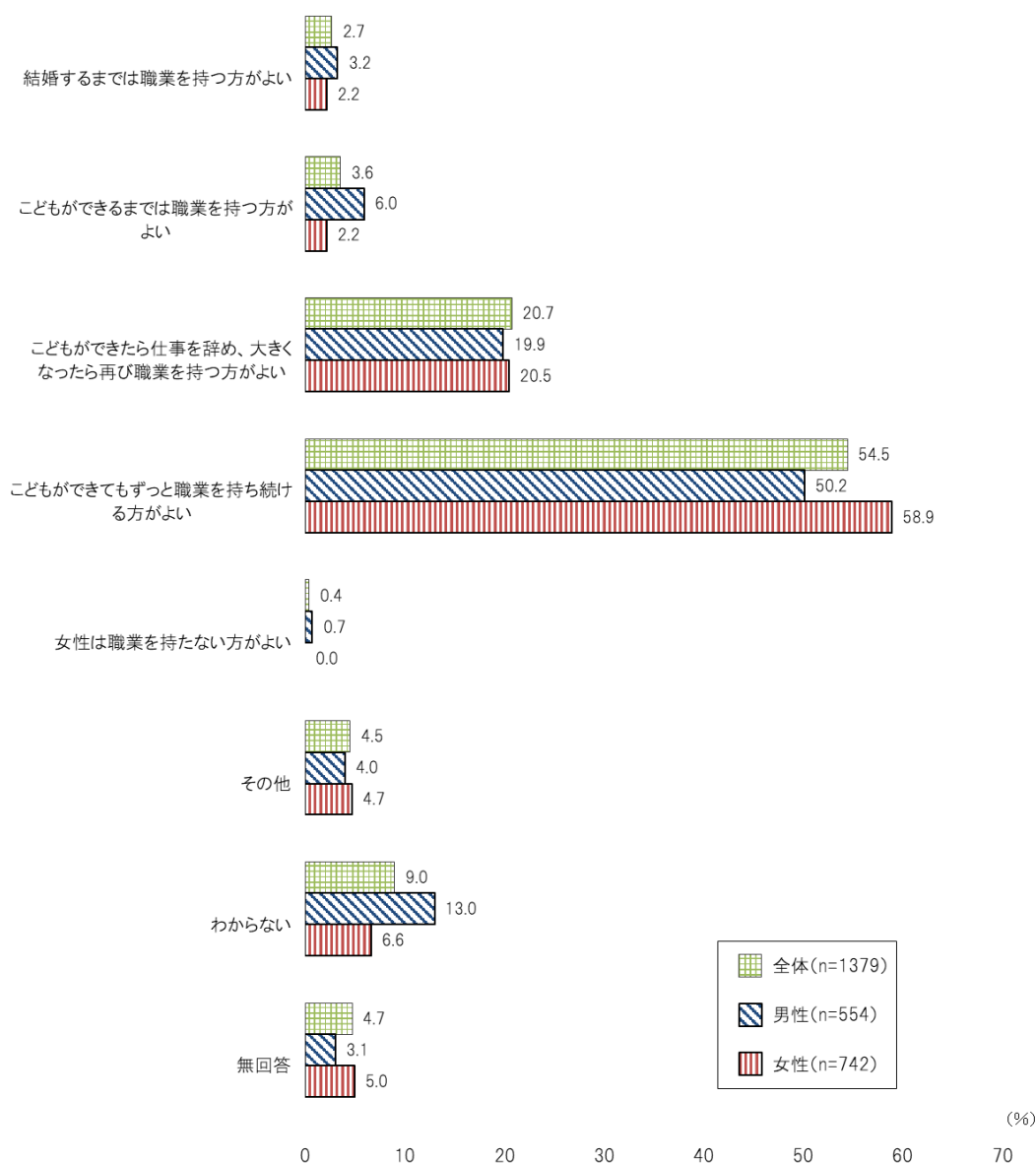
問 42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか。（○は1つだけ）

「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」が 54.5%と最も高く、次いで「こどもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」20.7%となっている。

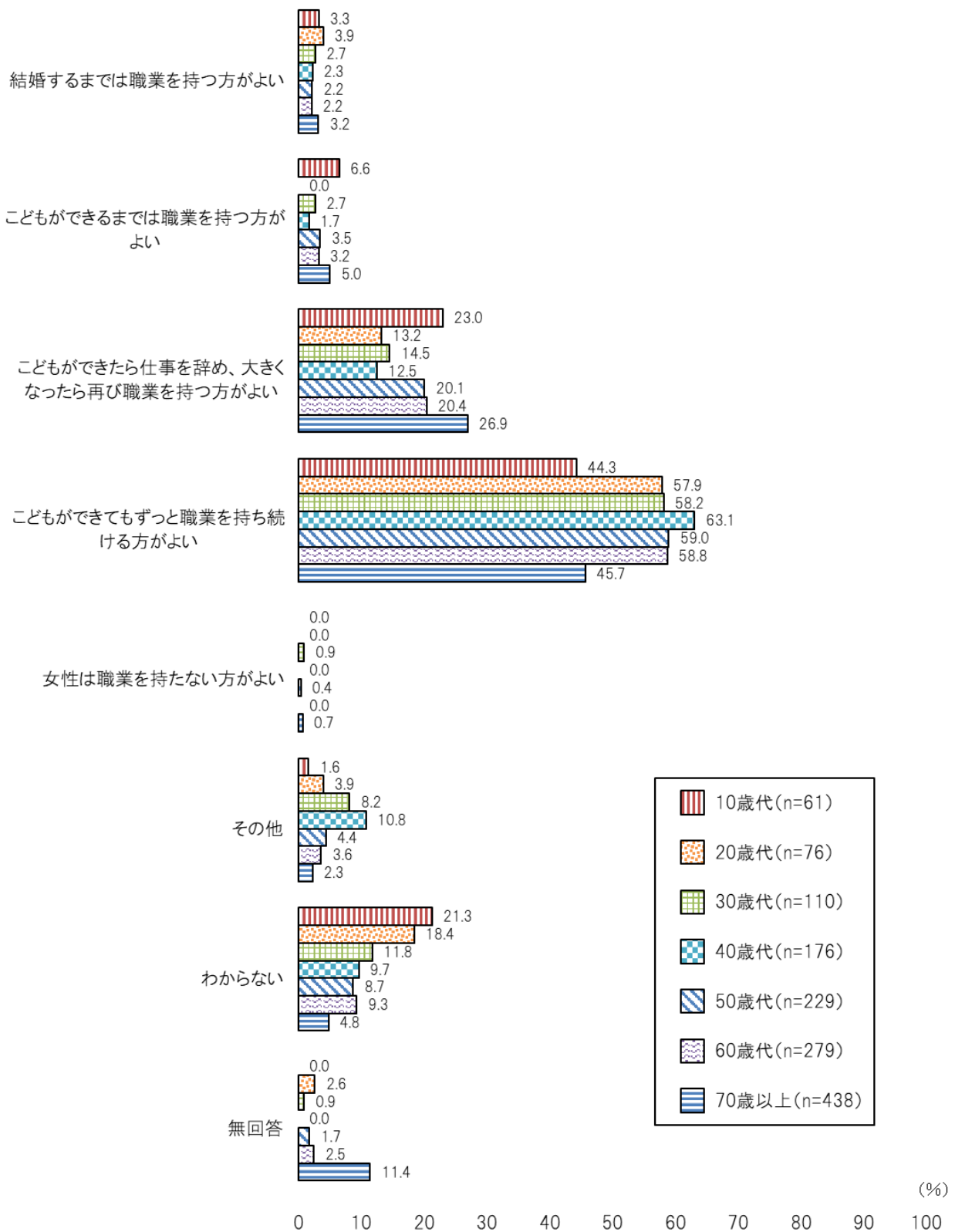
性別にみると、「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」の割合は、男性が 50.2%、女性が 58.9%で女性の方が男性よりも 8.7 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」の割合は 40 歳代で最も高く 63.1%となっており、10 歳代で 44.3%と最も低くなっている。

問42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか



問42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか



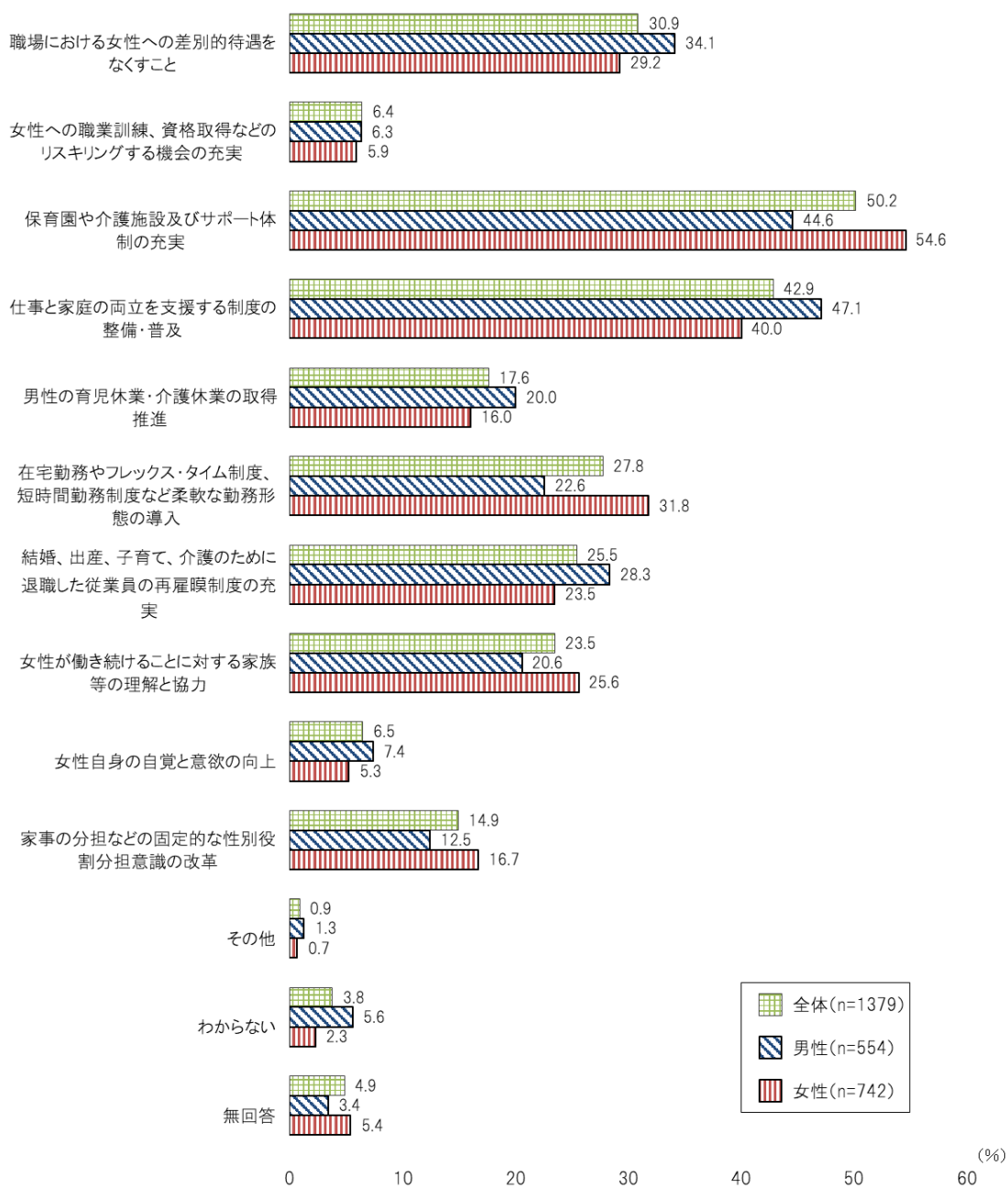
問 43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか。（○は3つまで）

「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」が50.2%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及」42.9%となっている。

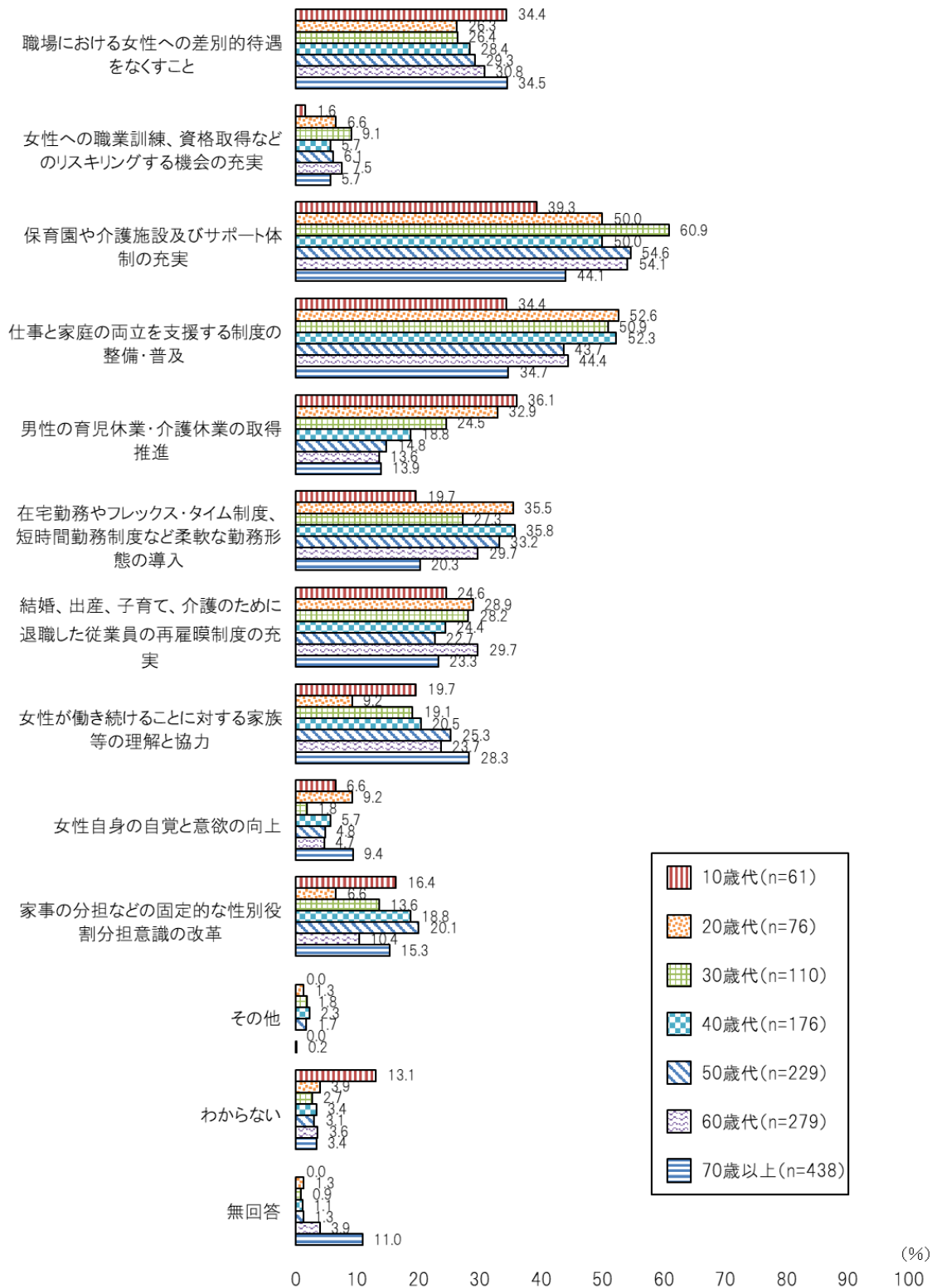
性別にみると、「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」の割合は、男性が44.6%、女性が54.6%で女性の方が男性よりも10.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」の割合は30歳代で最も高く60.9%となっており、10歳代で39.3%と最も低くなっている。

問43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか



問43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか



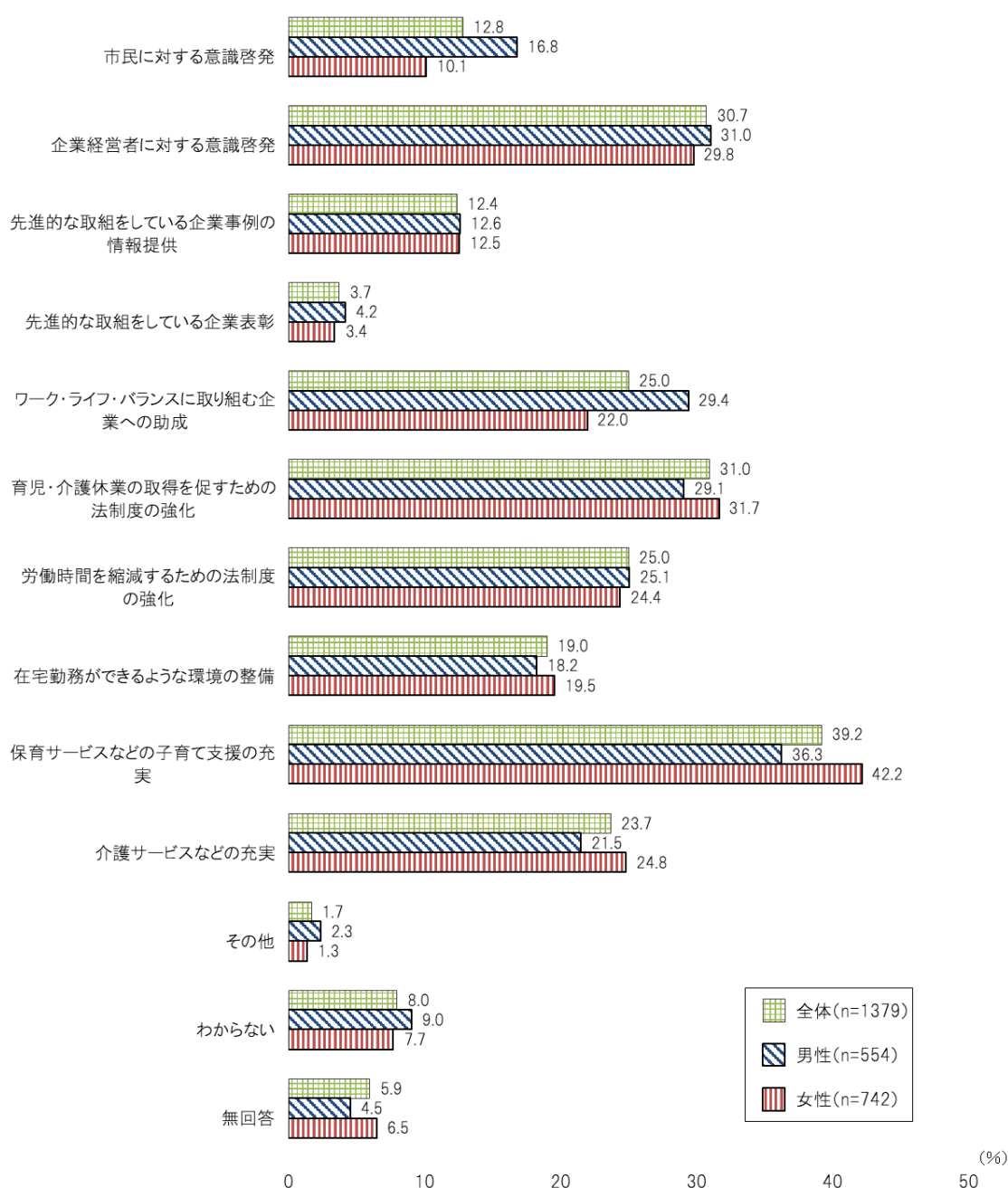
問 44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

「保育サービスなどの子育て支援の充実」が 39.2%と最も高く、次いで「育児・介護休業の取得を促すための法制度の強化」31.0%となっている。

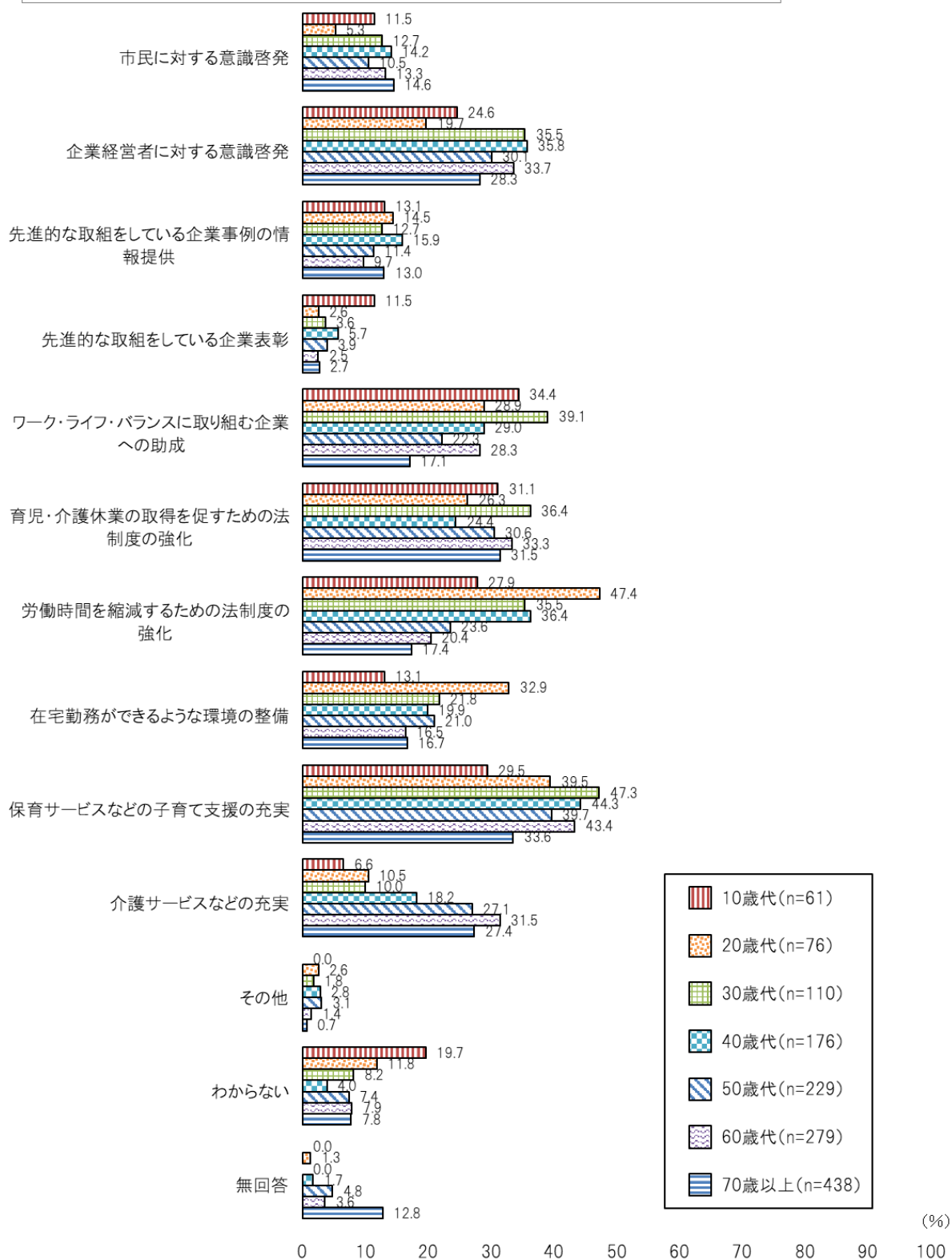
性別にみると、「保育サービスなどの子育て支援の充実」の割合は、男性が 36.3%、女性が 42.2%で女性の方が男性よりも 5.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「保育サービスなどの子育て支援の充実」の割合は 30 歳代で最も高く 47.3%となっており、10 歳代で 29.5%と最も低くなっている。

問44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか



問44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか

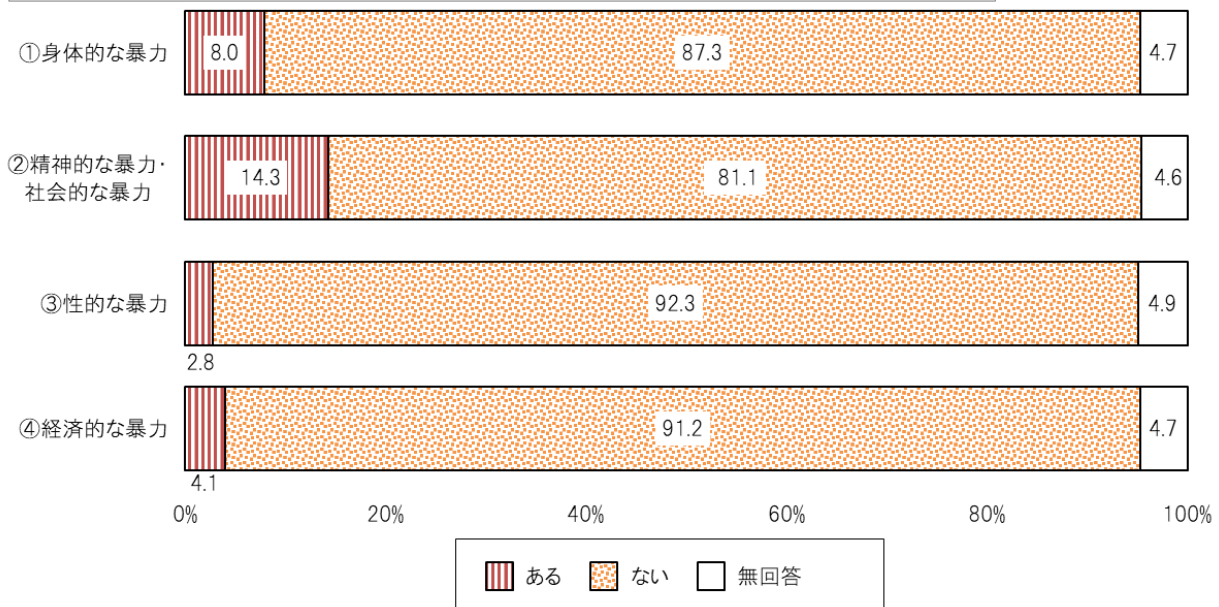


DV(ドメスティック・バイオレンス)について

問 45 あなたはこれまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 身体的な暴力は「ない」が 87.3%と最も高く、次いで「ある」 8.0%となっている。
- ② 精神的な暴力・社会的な暴力は「ない」が 81.1%と最も高く、次いで「ある」 14.3%となっている。
- ③ 性的な暴力は「ない」が 92.3%と最も高く、次いで「ある」 2.8%となっている。
- ④ 経済的な暴力は「ない」が 91.2%と最も高く、次いで「ある」 4.1%となっている。

問45 あなたはこれまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人から次のようなことをされたことがありますか



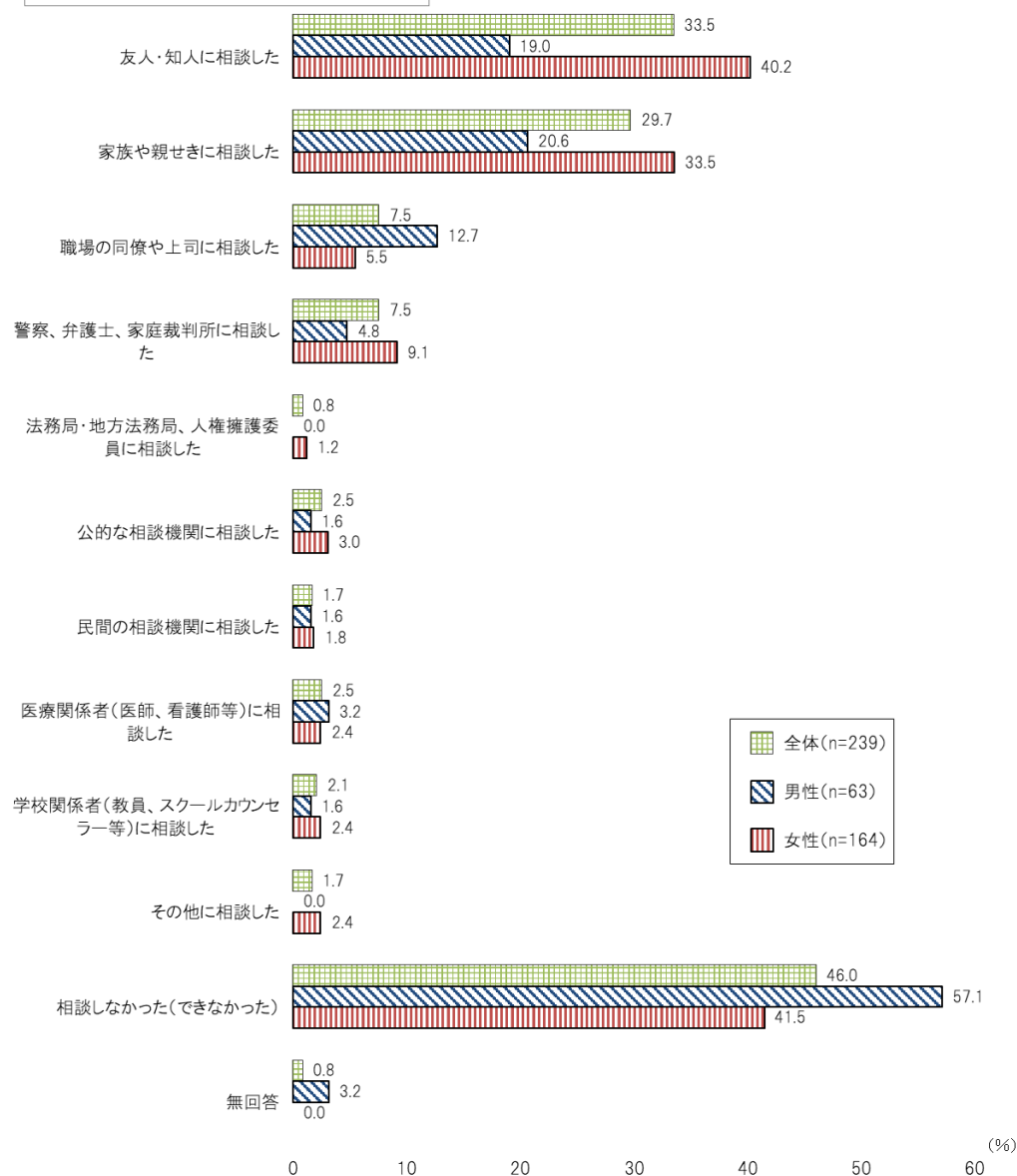
問 46 問 45 で 1 つでも「1. ある」に○と答えた方におききします。その後どこか（だれか）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「相談しなかった（できなかった）」が 46.0%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」33.5%、「家族や親せきに相談した」29.7%となっている。

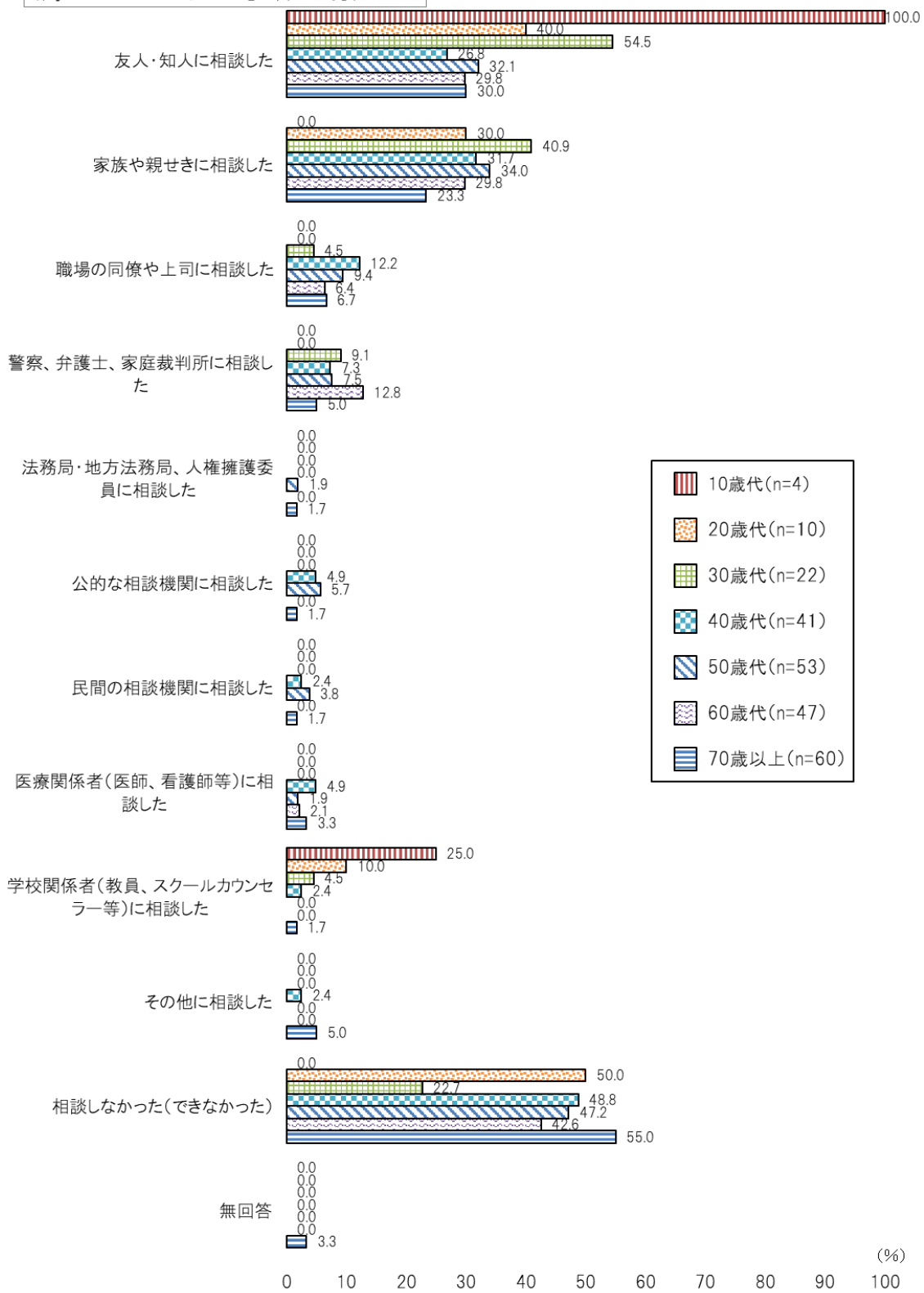
性別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は、男性が 57.1%、女性が 41.5%で男性の方が女性よりも 15.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は 70 歳以上で最も高く 55.0%となっており、30 歳代で 22.7%と最も低くなっている。

問46 その後どこか（だれか）に相談しましたか
(問45 でひとつでも「はい」と答えた方)



問46 その後どこか(だれか)に相談しましたか
(問45 でひとつでも「はい」と答えた方)

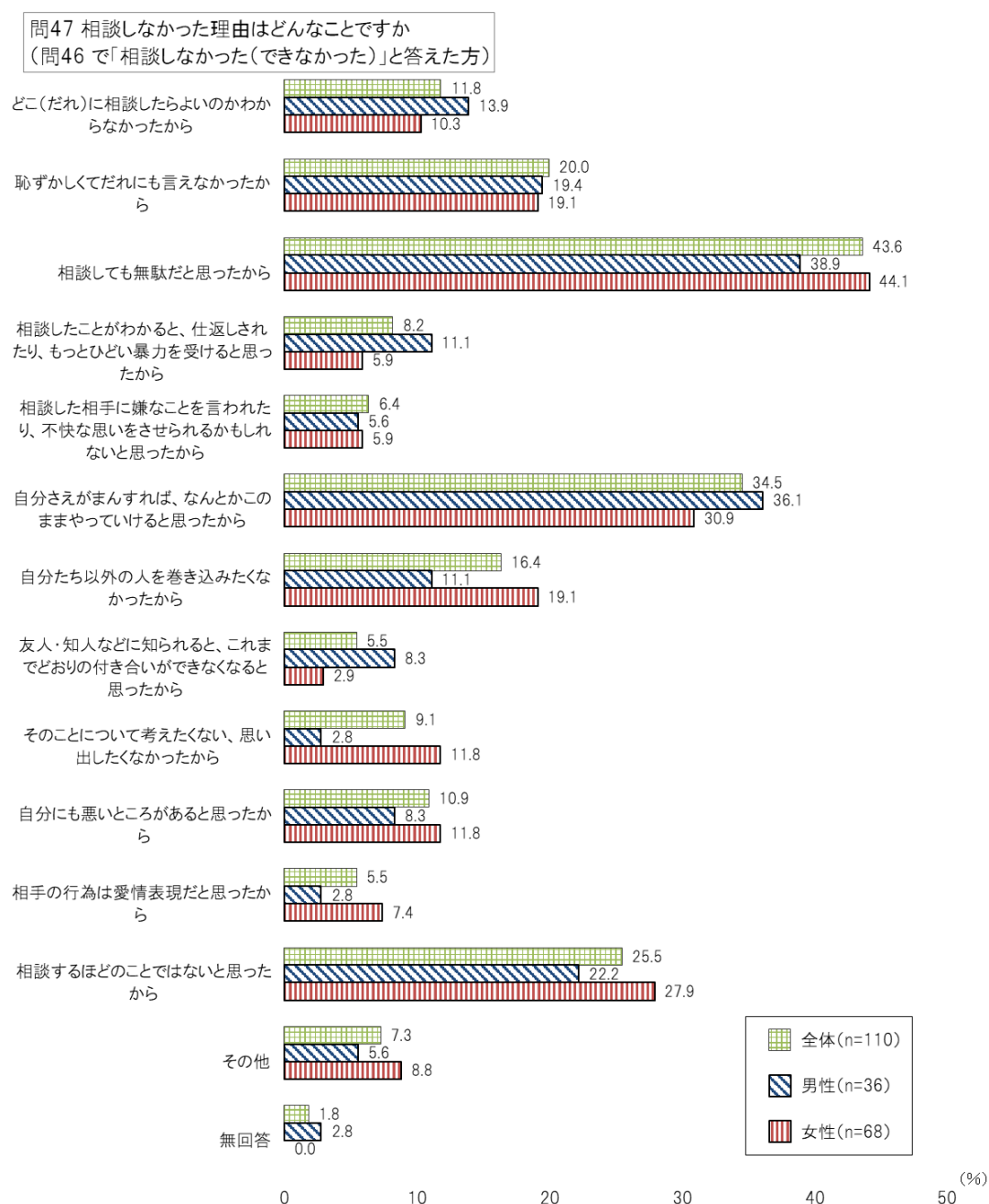


問 47 問 46 で「11. 相談しなかった（できなかった）」に○と答えた方におききします。
相談しなかった理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

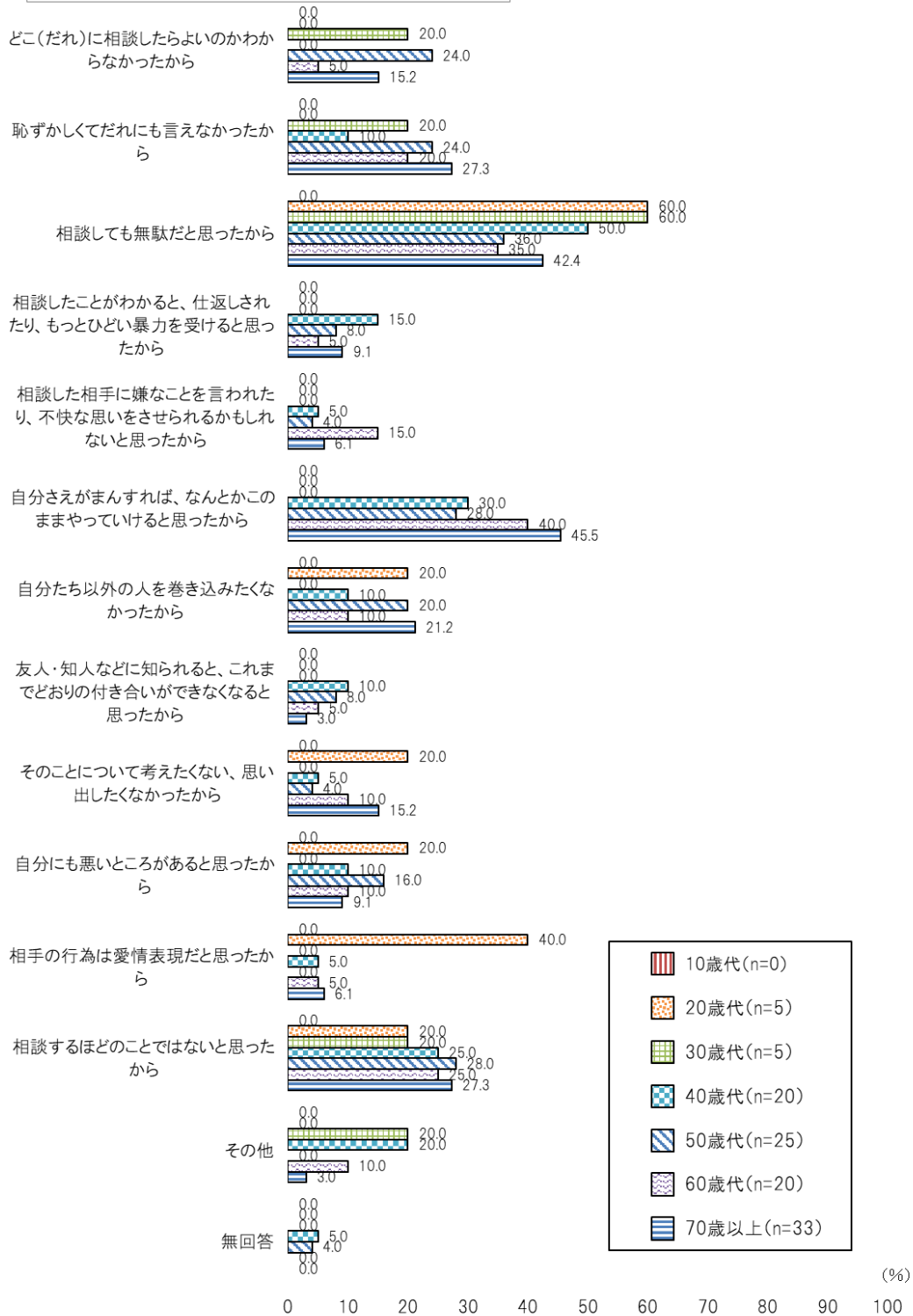
「相談しても無駄だと思ったから」が 43.6%と最も高く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」34.5%、「相談するほどのことではないと思ったから」25.5%となっている。

性別にみると、「相談しても無駄だと思ったから」の割合は、男性が 38.9%、女性が 44.1%で女性の方が男性よりも 5.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しても無駄だと思ったから」の割合は 20 歳代、30 歳代で最も高く 60.0%となっており、60 歳代で 35.0%と最も低くなっている。



問47 相談しなかった理由はどんなことですか
(問46で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



セクシュアル・ハラスメントについて

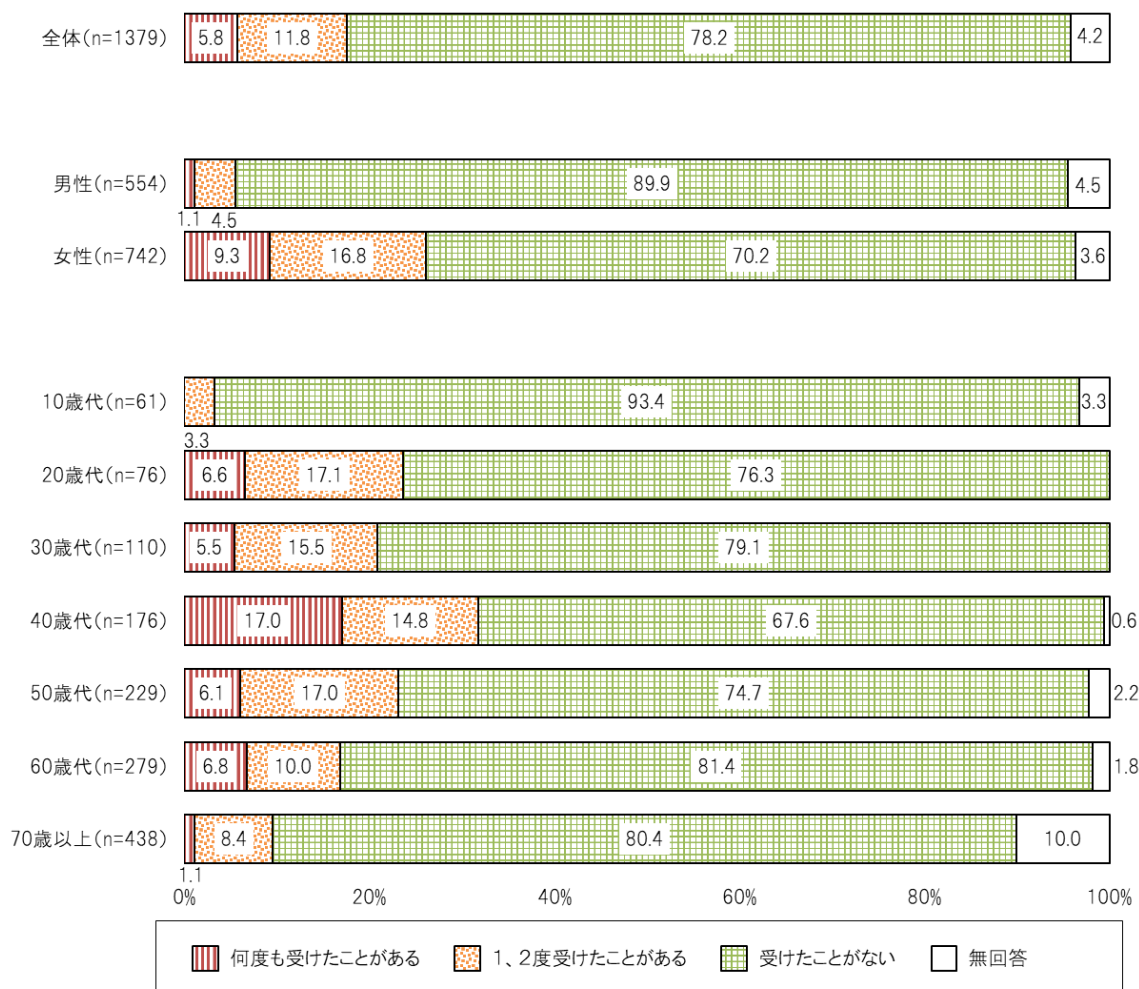
問 48 あなたはこれまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。（○は1つだけ）

「受けたことがない」が78.2%と最も高く、次いで「1、2度受けたことがある」11.8%、「何度も受けたことがある」5.8%となっている。

性別にみると、「受けたことがない」の割合は、男性が89.9%、女性が70.2%で男性の方が女性よりも19.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「受けたことがない」の割合は10歳代で最も高く93.4%となっており、40歳代で67.6%と最も低くなっている。

問48 あなたはこれまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか



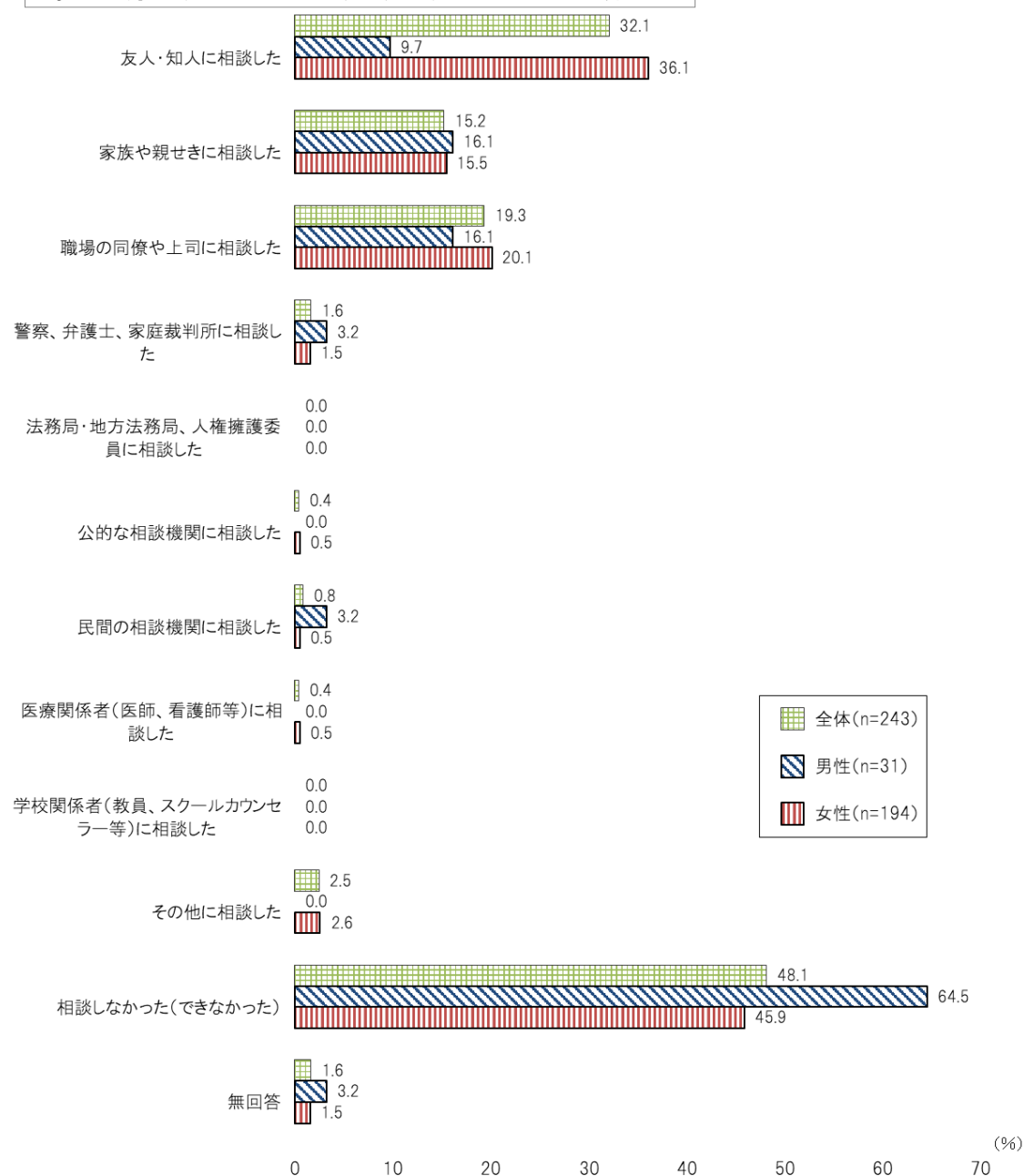
問 49 問 48 で「1. 何度も受けたことがある」「2. 1、2度受けたことがある」に○と答えた方におききます。その後どこか（だれか）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「相談しなかった（できなかった）」が 48.1%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」32.1%、「職場の同僚や上司に相談した」19.3%となっている。

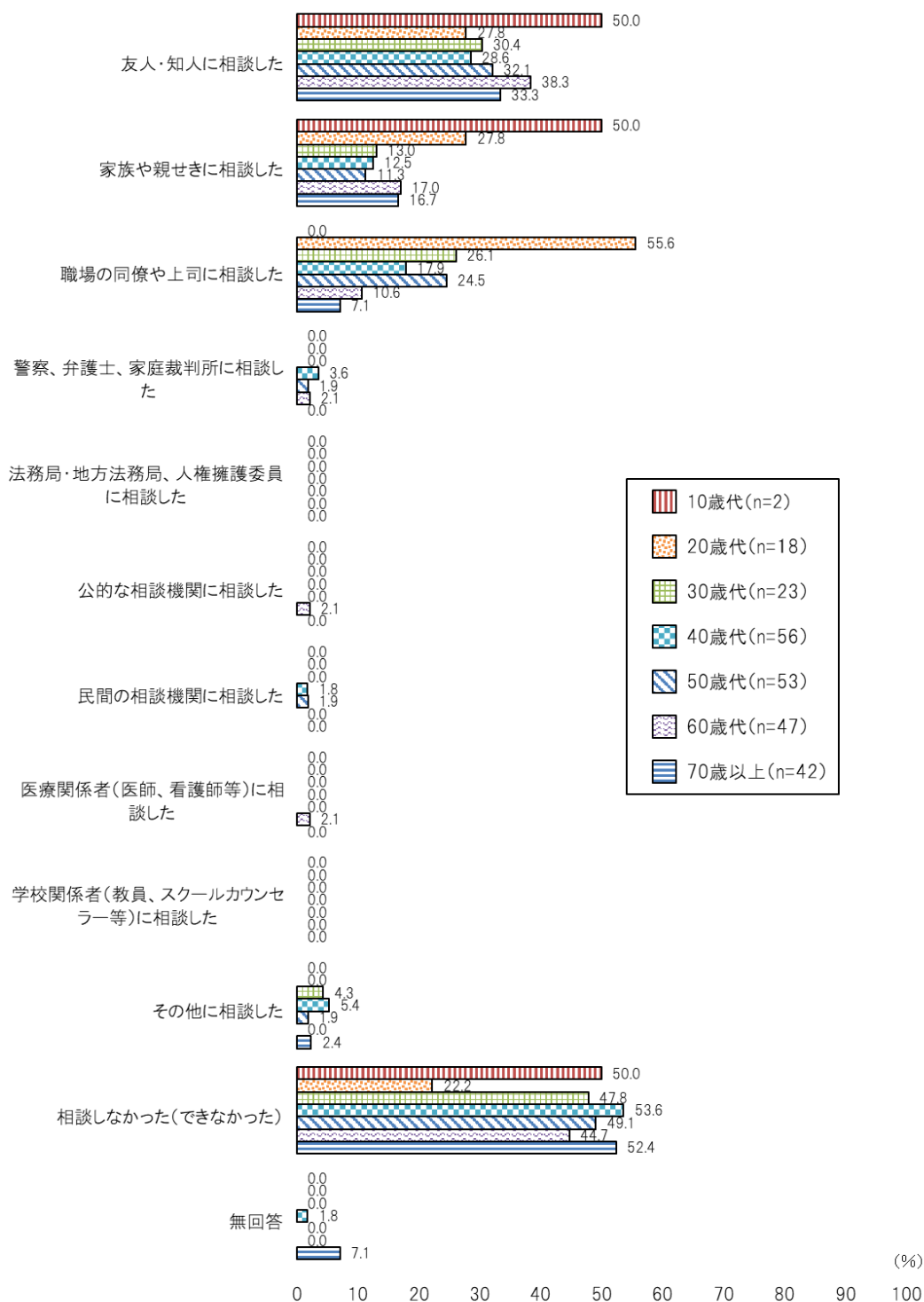
性別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は、男性が 64.5%、女性が 45.9%で男性の方が女性よりも 18.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は 40 歳代で最も高く 53.6%となっており、20 歳代で 22.2%と最も低くなっている。

問49 その後どこか（だれか）に相談しましたか
（問48 で「何度も受けたことがある」、「1、2度受けたことがある」と答えた方）



問49 その後どこか(だれか)に相談しましたか
(問48 で「何度も受けたことがある」、「1、2度受けたことがある」と答えた方)



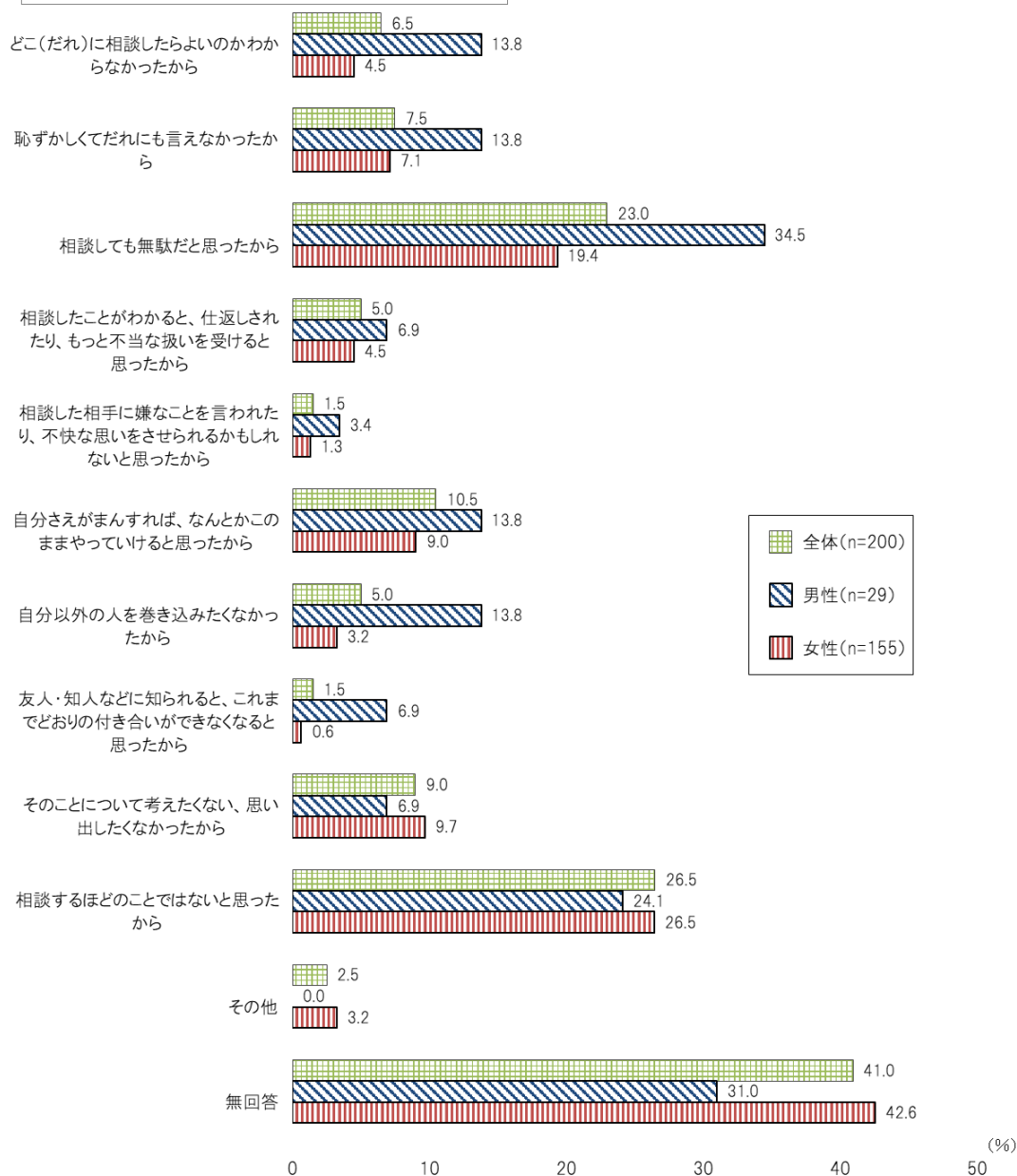
問 50 問 49 で「11. 相談しなかった（できなかった）」に○と答えた方におききします。
相談しなかった理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

「相談するほどのことではないと思ったから」が 26.5%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」23.0%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」10.5%となっている。

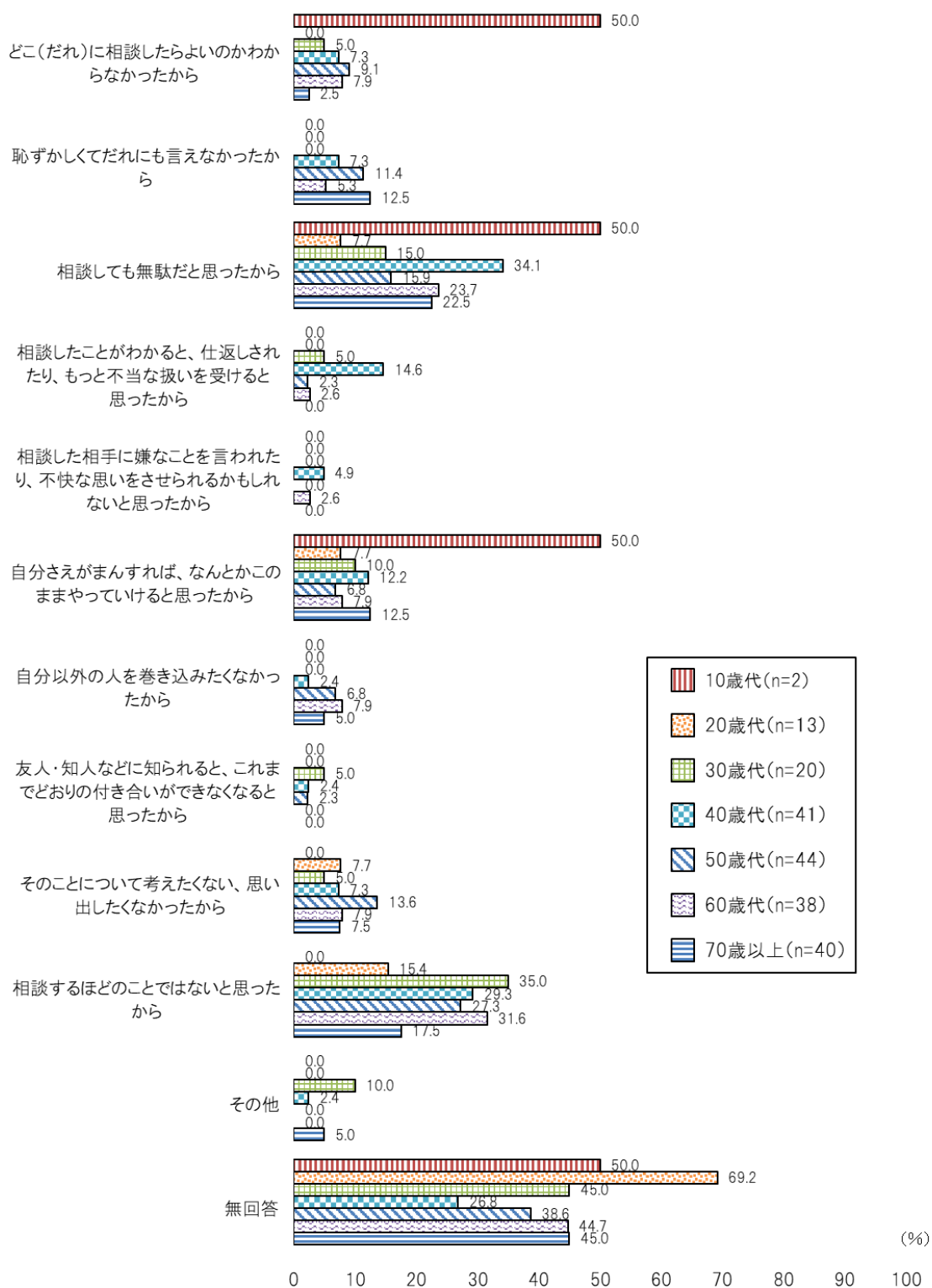
性別にみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合は、男性が 24.1%、女性が 26.5%で女性の方が男性よりも 2.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合は 30 歳代で最も高く 35.0%となっており、20 歳代で 15.4%と最も低くなっている。

問50 相談しなかった理由はどんなことですか
(問49 で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



問50 相談しなかった理由はどんなことですか
(問49 で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



政策・方針の場への男女共同参画について

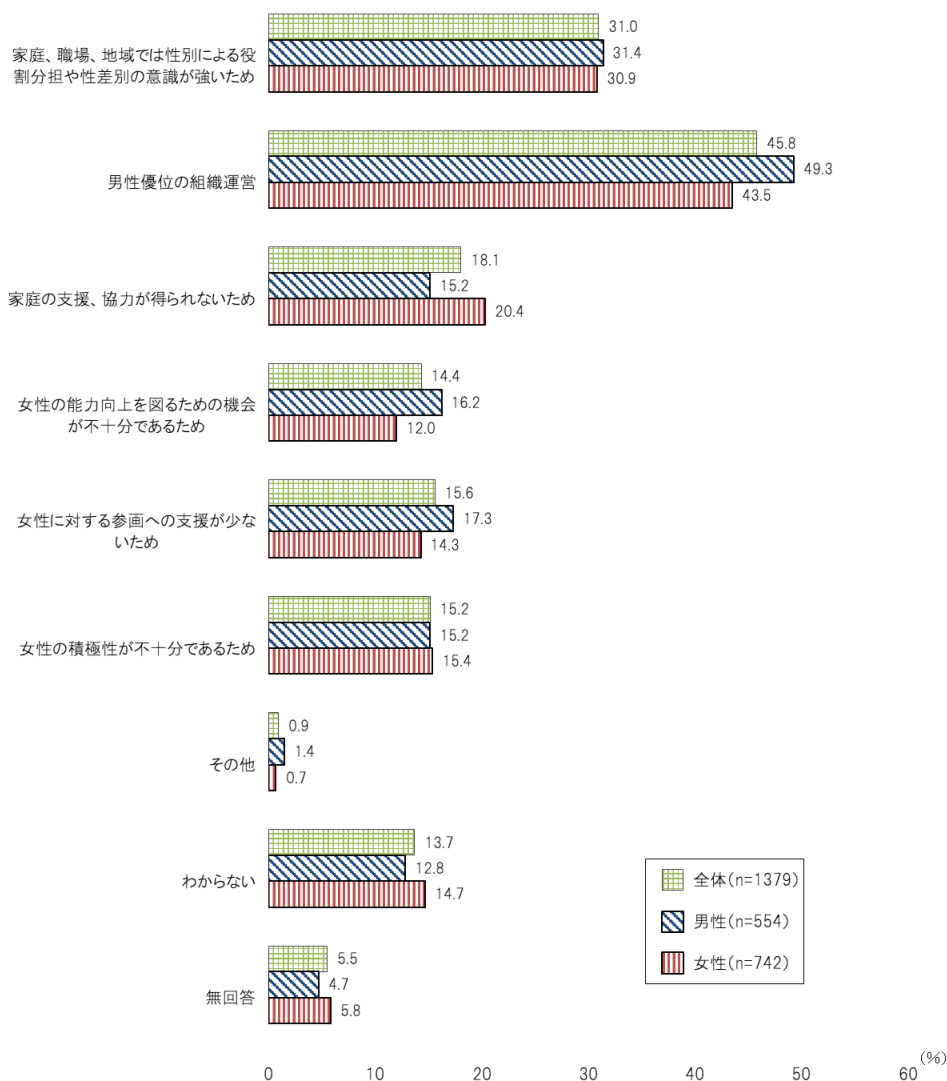
問 51 「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思えますか。（○は2 つまで）

「男性優位の組織運営」が 45.8%と最も高く、次いで「家庭、職場、地域では性別による役割分担や性差別の意識が強いため」31.0%、「家庭の支援、協力が得られないため」18.1%となっている。

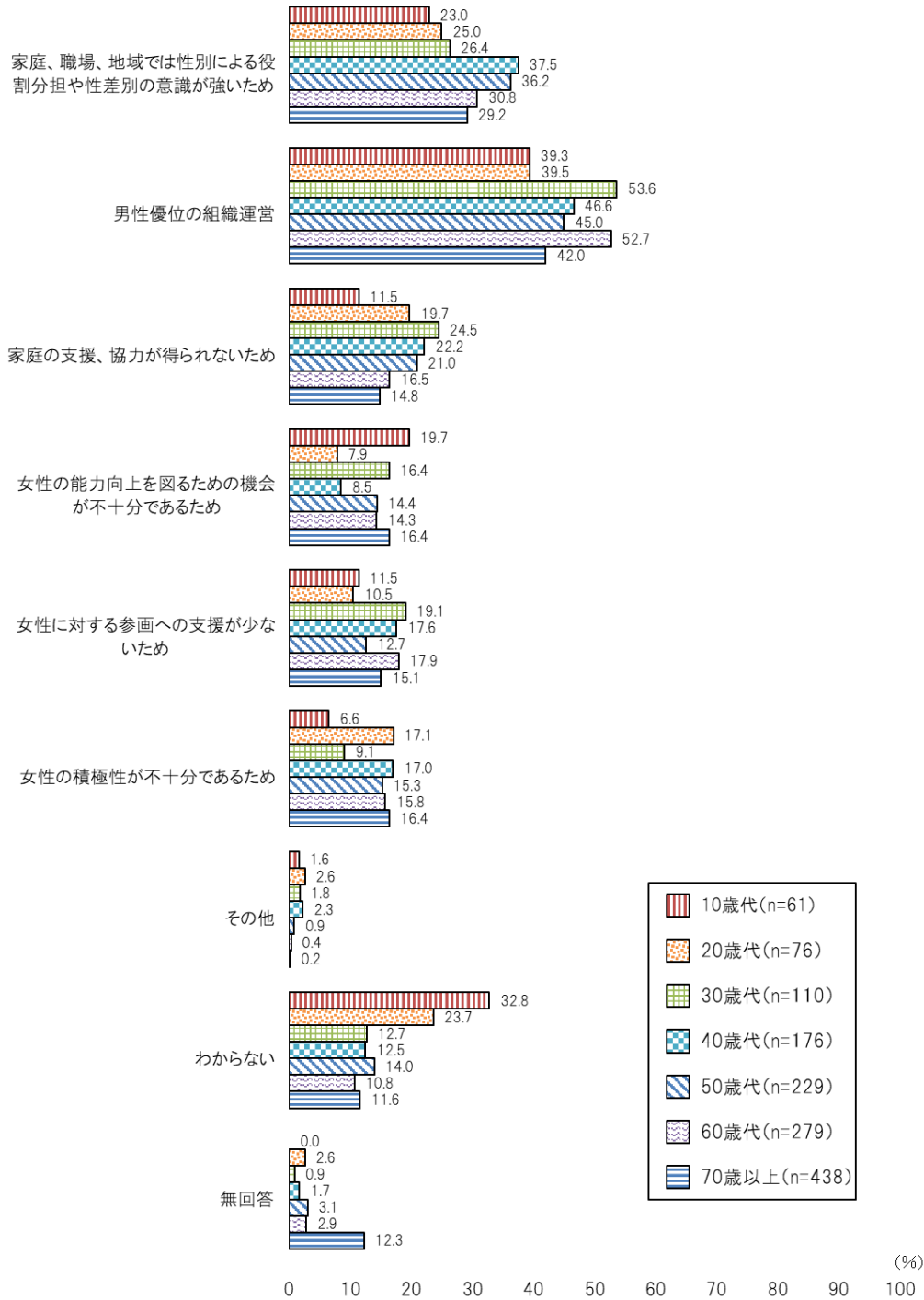
性別にみると、「男性優位の組織運営」の割合は、男性が 49.3%、女性が 43.5%で男性の方が女性よりも 5.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「男性優位の組織運営」の割合は 30 歳代で最も高く 53.6%となっており、10 歳代で 39.3%と最も低くなっている。

問51「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思えますか



問51「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思いますか



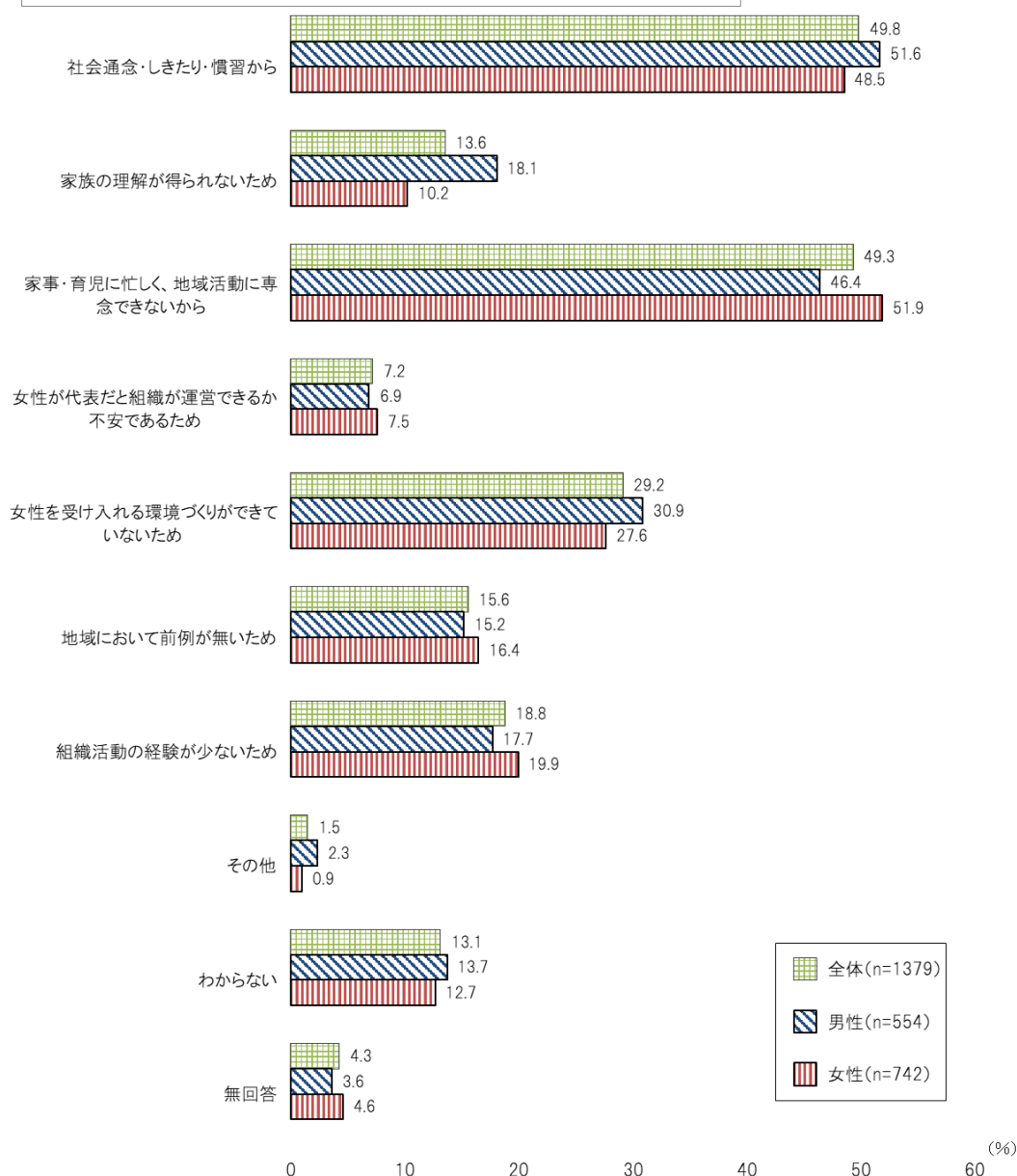
問 52 住民自治協議会（まちづくり協議会）など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか。（〇は3つまで）

「社会通念・しきたり・慣習から」が49.8%と最も高く、次いで「家事・育児に忙しく、地域活動に専念できないから」49.3%、「女性を受け入れる環境づくりができていないため」29.2%となっている。

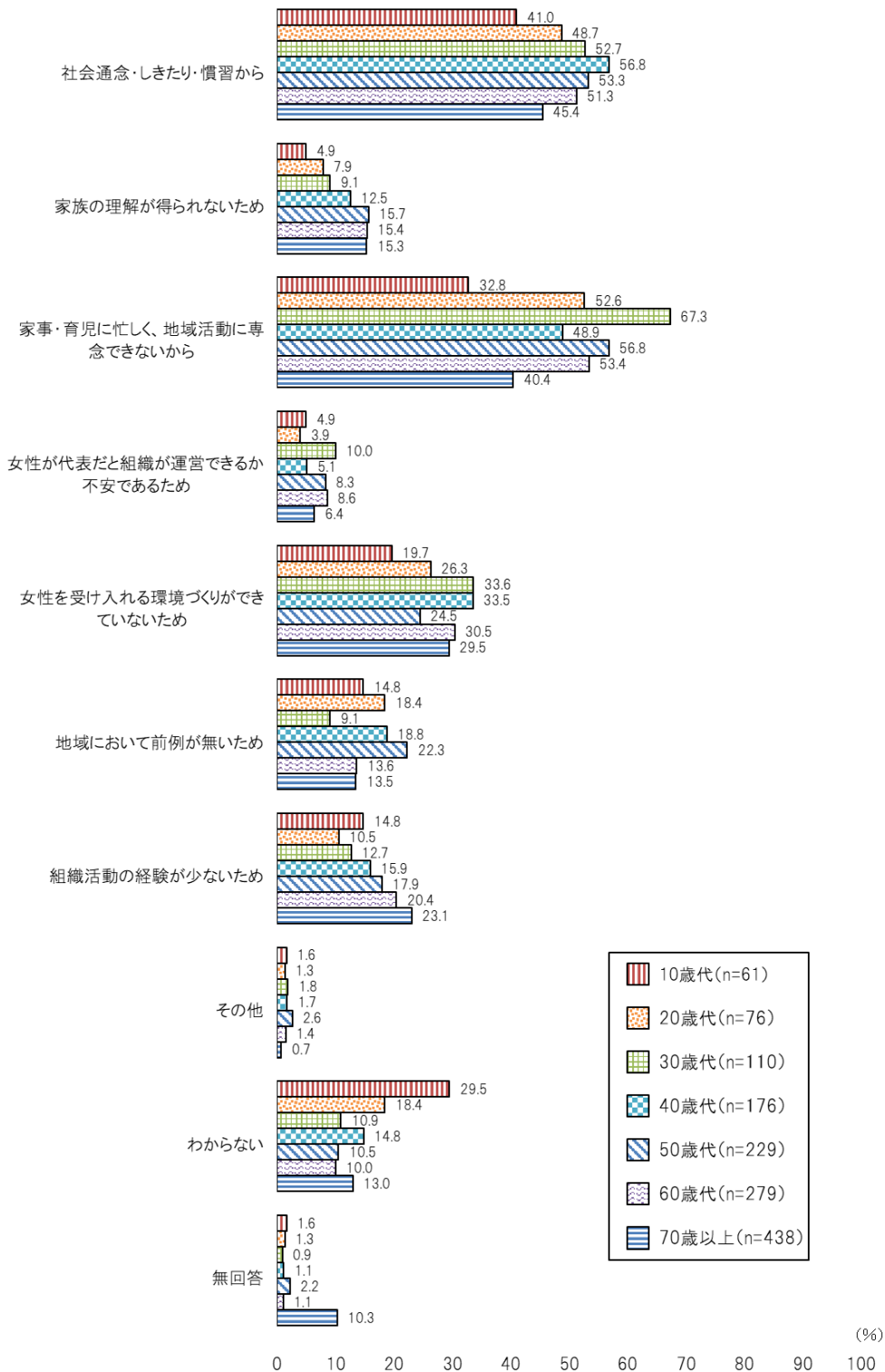
性別にみると、「社会通念・しきたり・慣習から」の割合は、男性が51.6%、女性が48.5%で男性の方が女性よりも3.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「社会通念・しきたり・慣習から」の割合は40歳代で最も高く56.8%となっており、10歳代で41.0%と最も低くなっている。

問52 住民自治協議会(まちづくり協議会)など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか



問52 住民自治協議会(まちづくり協議会)など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか



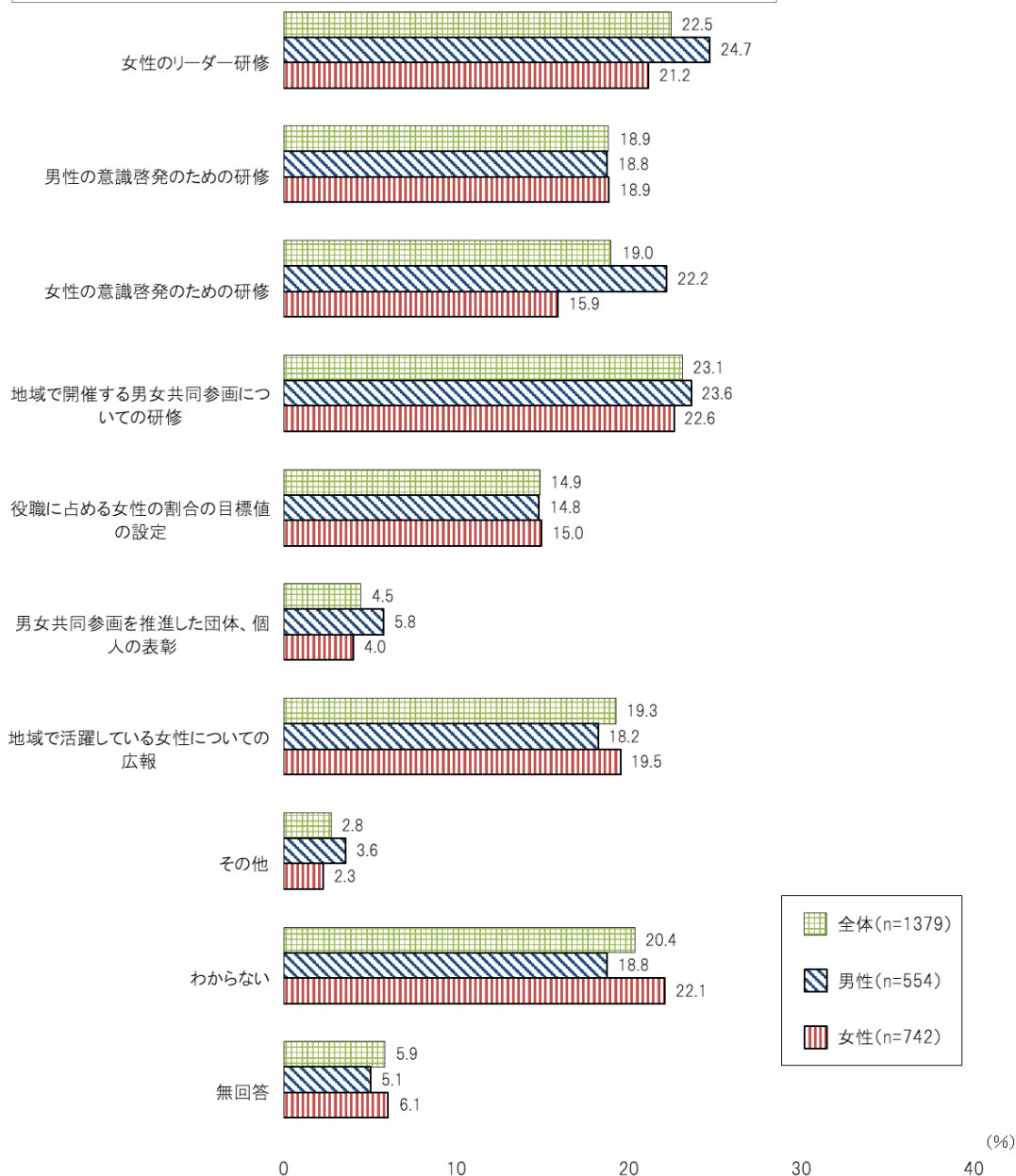
問 53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか。（〇は2つまで）

「地域で開催する男女共同参画についての研修」が23.1%と最も高く、次いで「女性のリーダー研修」22.5%、「地域で活躍している女性についての広報」19.3%となっている。

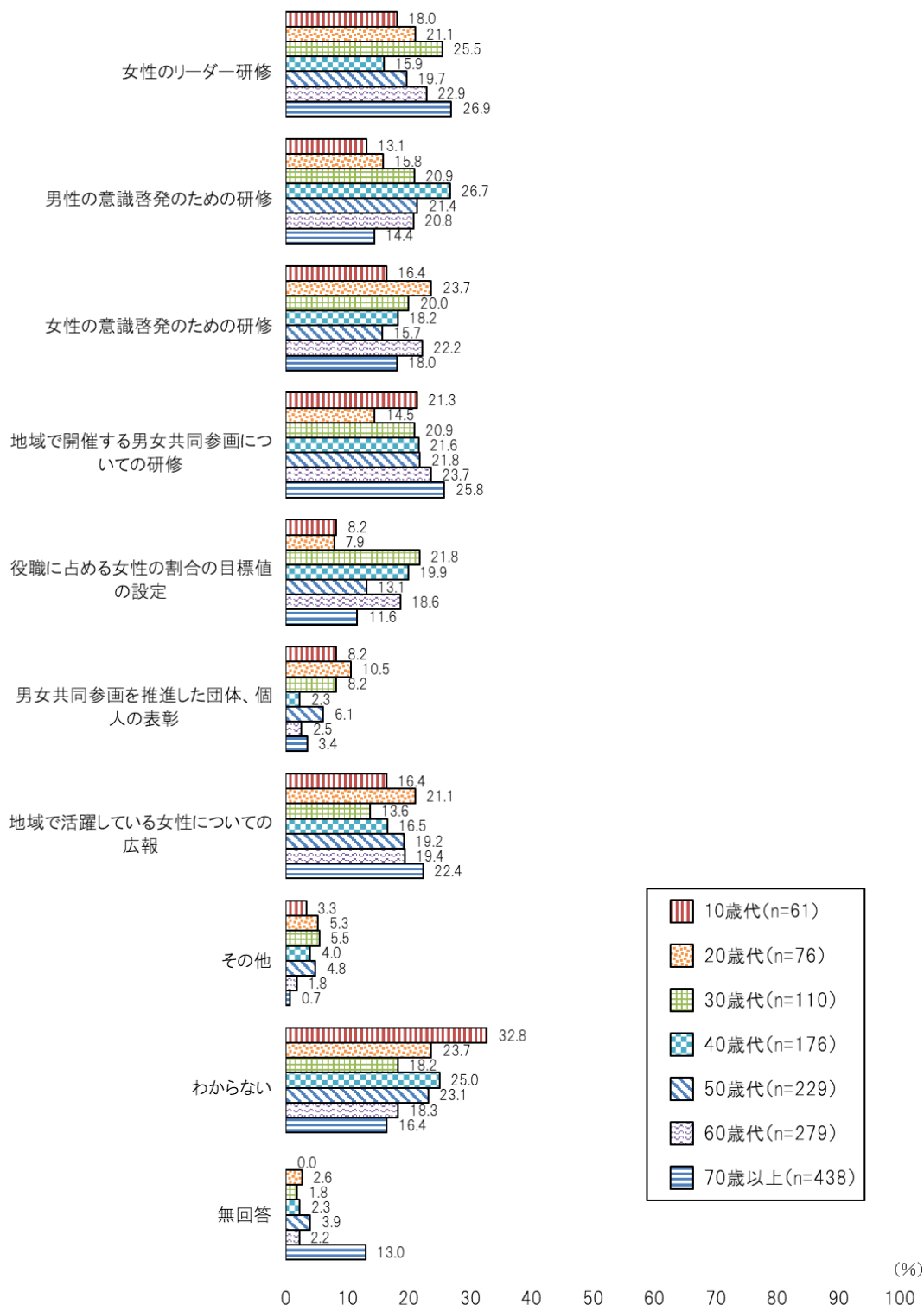
性別にみると、「地域で開催する男女共同参画についての研修」の割合は、男性が23.6%、女性が22.6%で男性の方が女性よりも1.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「地域で開催する男女共同参画についての研修」の割合は70歳以上で最も高く25.8%となっており、20歳代で14.5%と最も低くなっている。

問53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか



問53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか

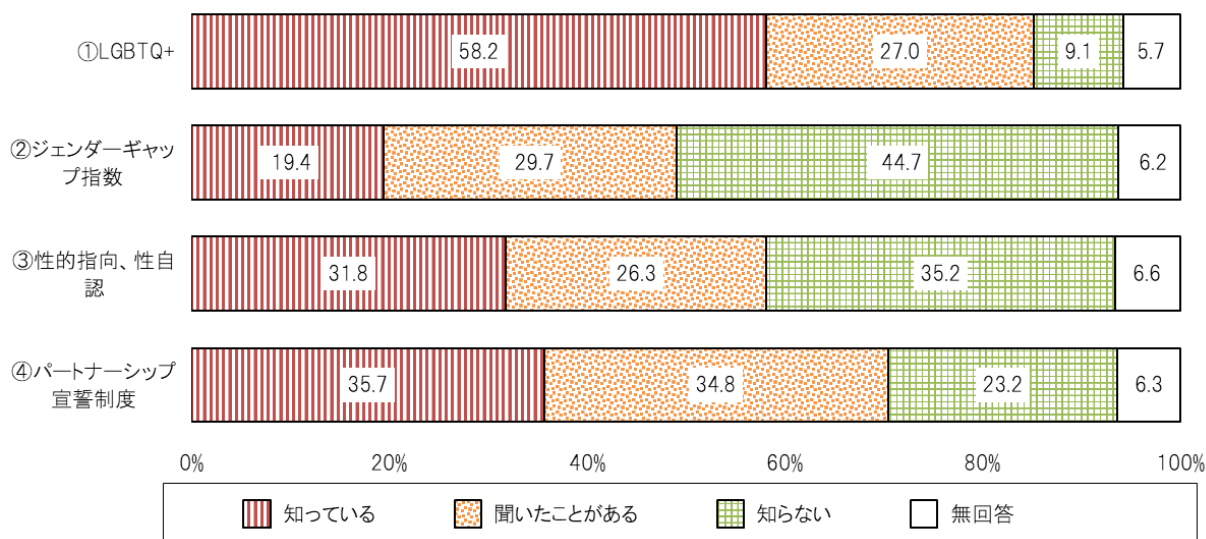


性の多様性について

問 54 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① LGBTQ+は「知っている」が58.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」27.0%となっている。
- ② ジェンダーギャップ指数は「知らない」が44.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」29.7%となっている。
- ③ 性的指向、性自認は「知らない」35.2%と最も高く、次いで「知っている」31.8%となっている。
- ④ パートナーシップ宣誓制度は「知っている」が35.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」34.8%となっている。

問54 次のことばについておききします



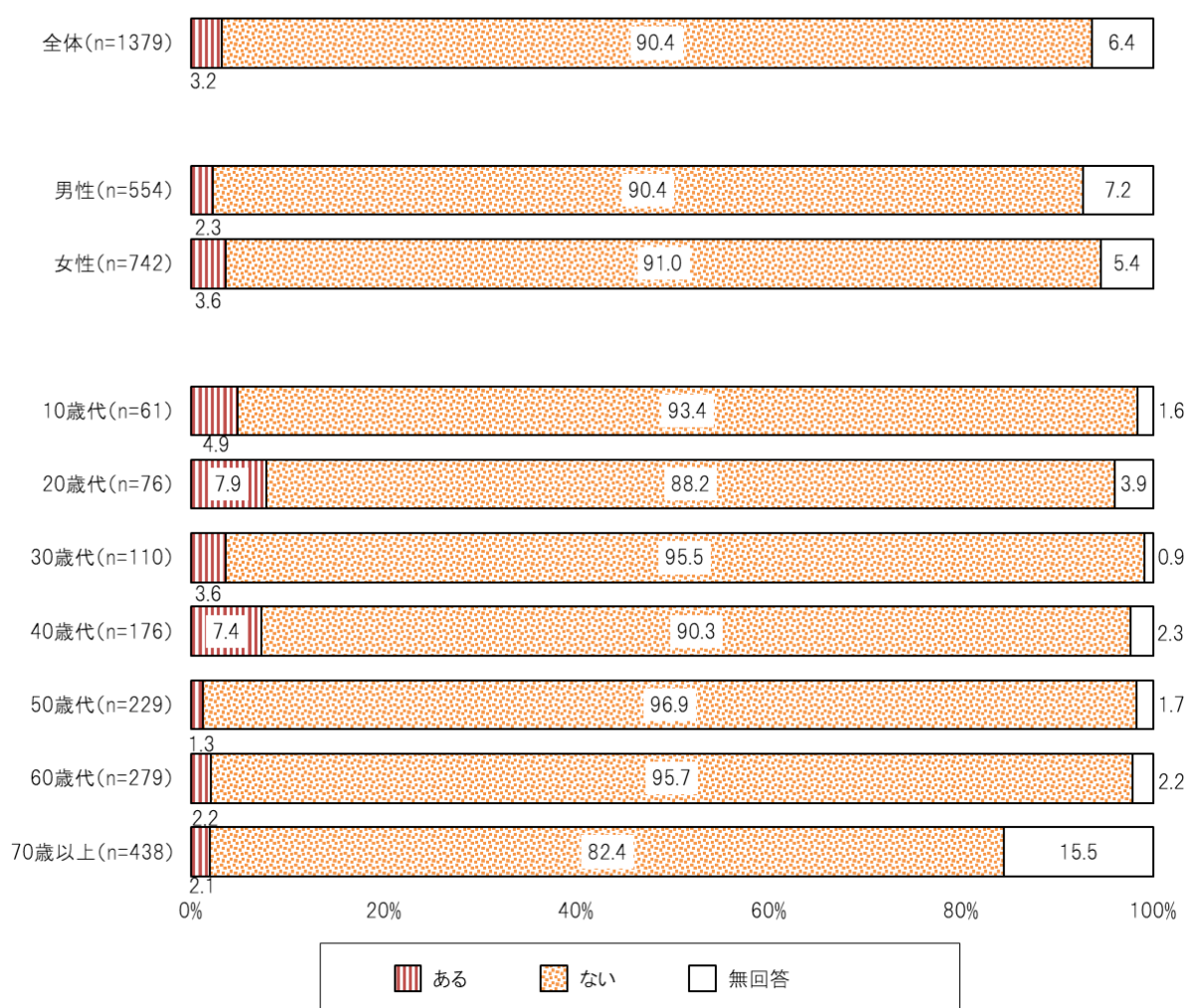
問 55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか。（○は1つだけ）

「ない」が90.4%と最も高く、次いで「ある」3.2%となっている。

性別にみると、「ない」の割合は、男性が90.4%、女性が91.0%で女性の方が男性よりも0.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ない」の割合は50歳代で最も高く96.9%となっており、70歳以上で82.4%と最も低くなっている。

問55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか



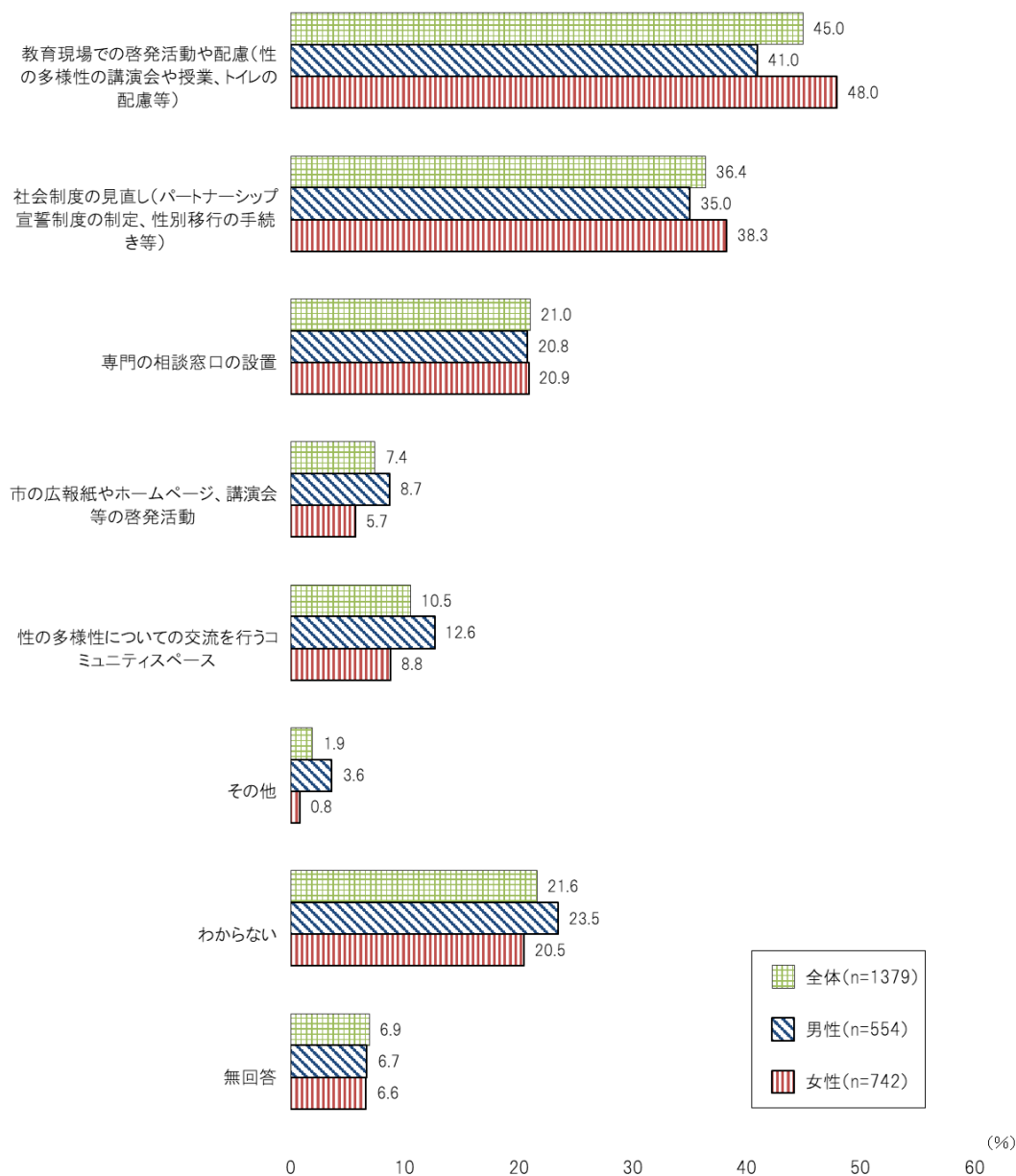
問 56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」が45.0%と最も高く、次いで「社会制度の見直し（パートナーシップ宣誓制度の制定、性別移行の手続き等）」36.4%となっている。

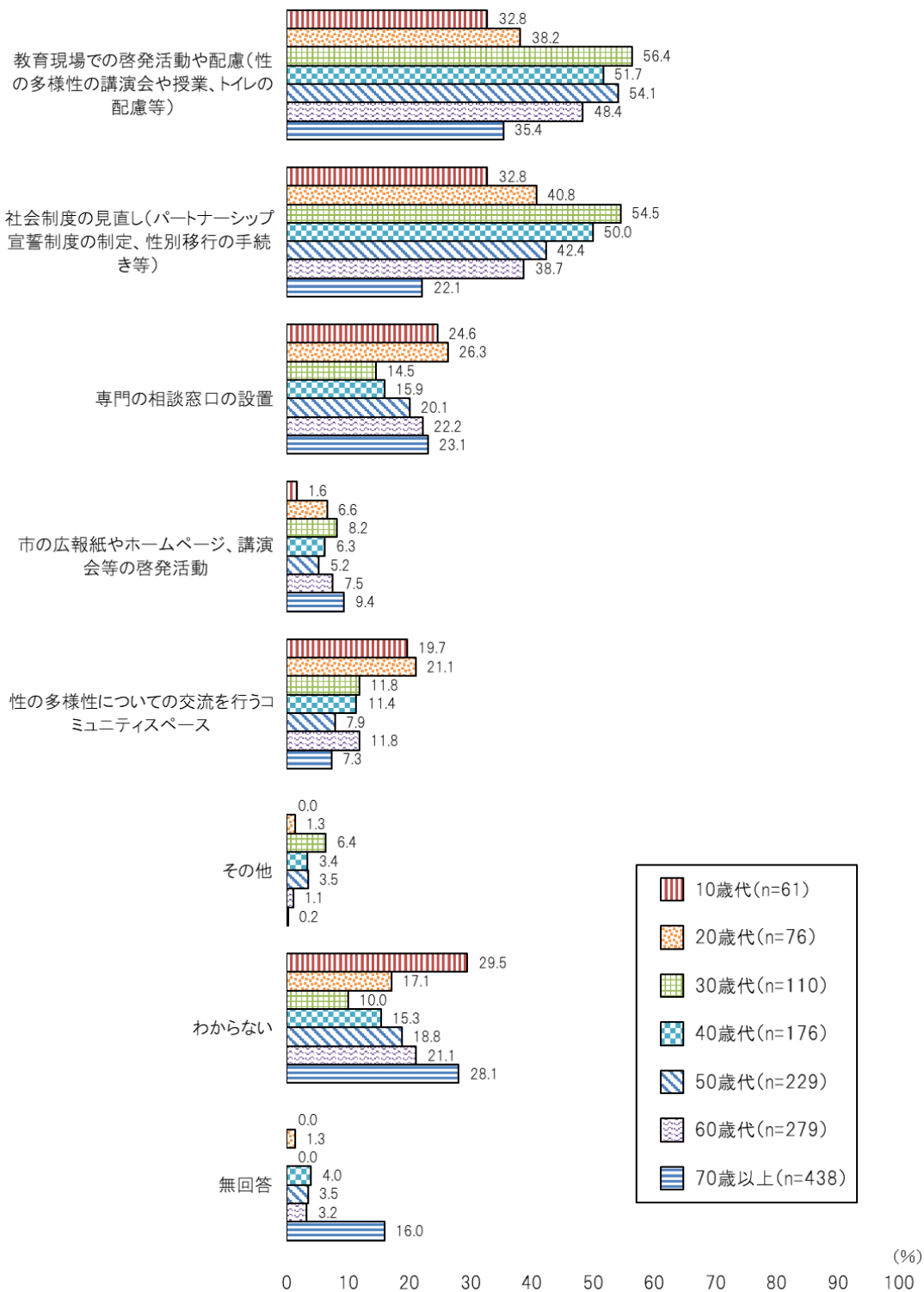
性別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は、男性が41.0%、女性が48.0%で女性の方が男性よりも7.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は30歳代で最も高く56.4%となっており、10歳代で32.8%と最も低くなっている。

問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



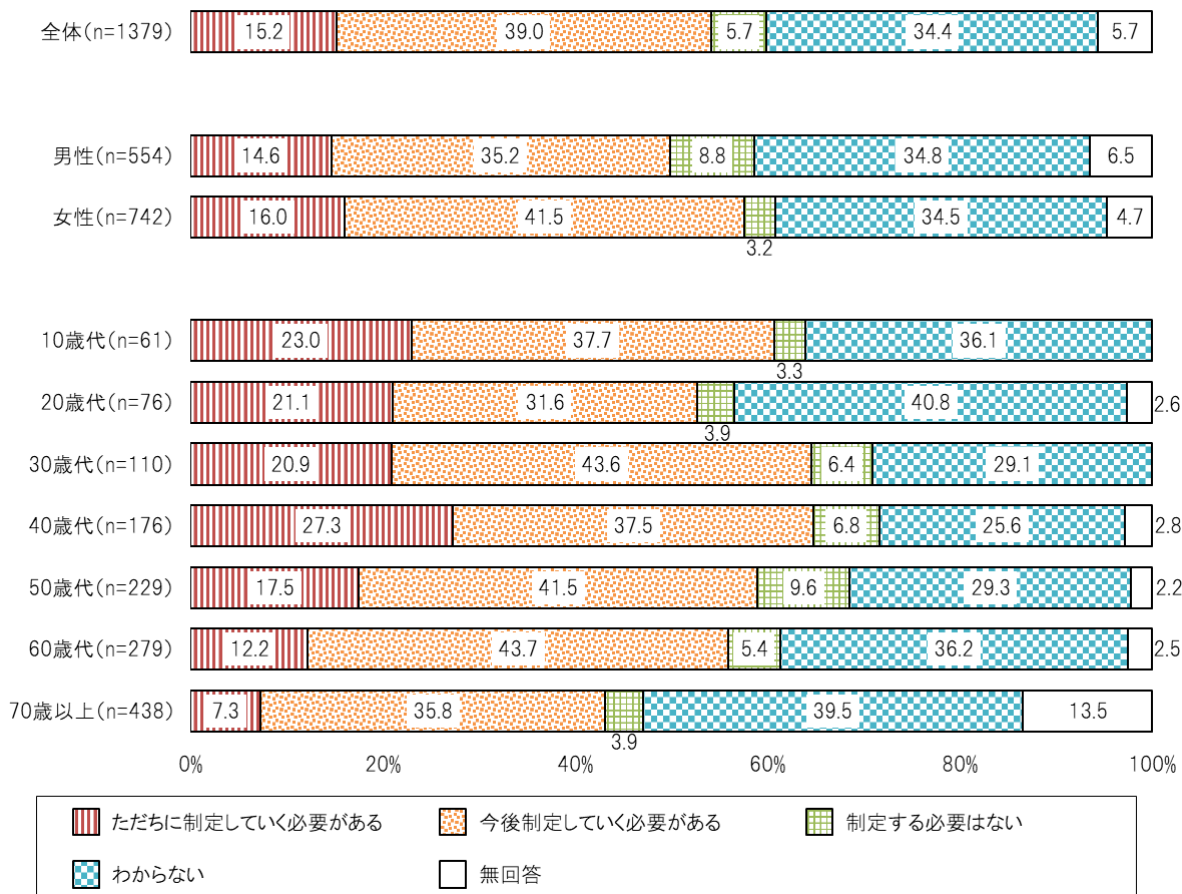
問 57 三重県では令和 3 年 9 月 1 日から「三重県パートナーシップ宣誓制度」が始まりました。松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか。
(○は 1 つだけ)

「今後制定していく必要がある」が 39.0%と最も高く、次いで「わからない」34.4%、「ただちに制定していく必要がある」15.2%となっている。

性別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は、男性が 35.2%、女性が 41.5%で女性の方が男性よりも 6.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は 60 歳代で最も高く 43.7%となっており、20 歳代で 31.6%と最も低くなっている。

問57 松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか



行政の取組について

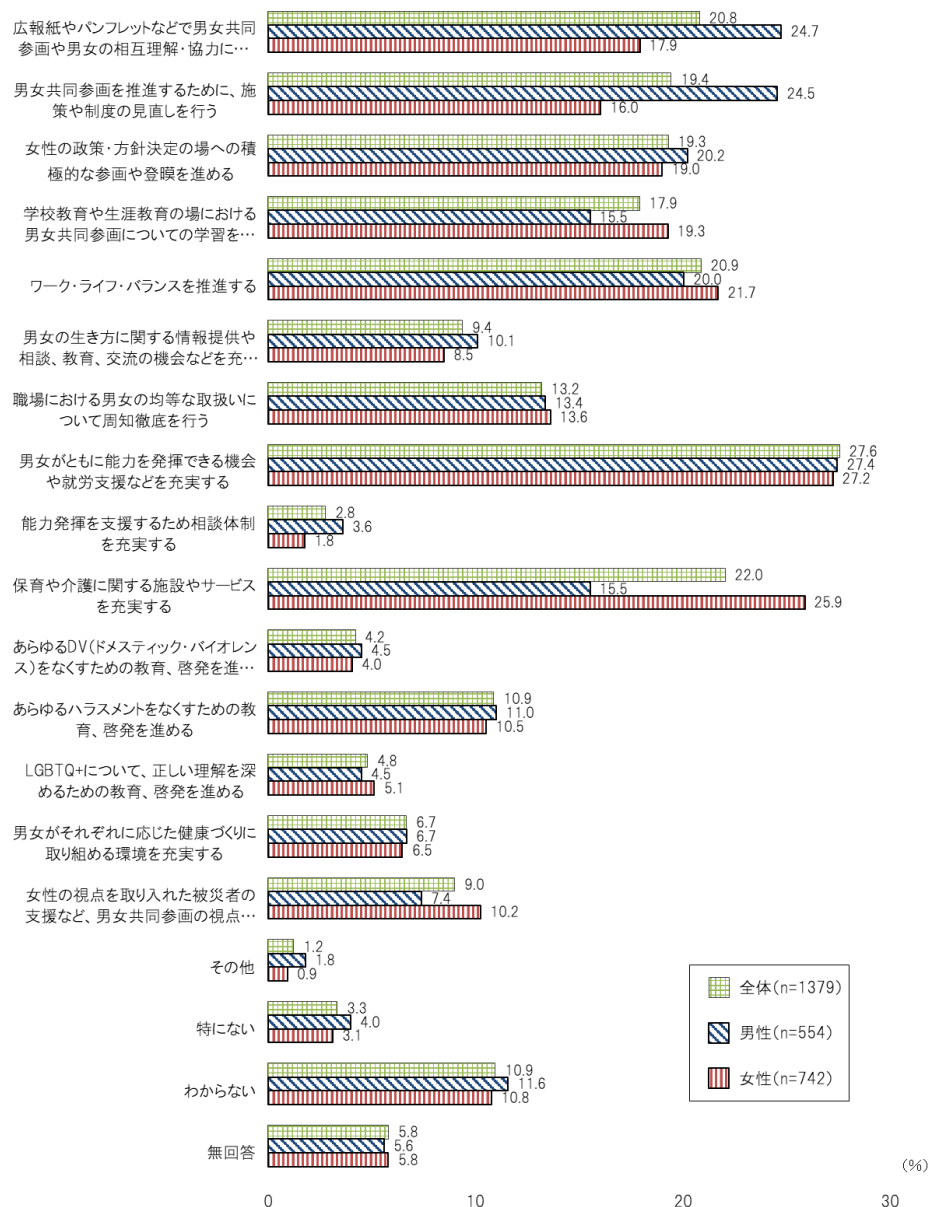
問 58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。（〇は3つまで）

「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」が27.6%と最も高く、次いで「保育や介護に関する施設やサービスを充実する」22.0%となっている。

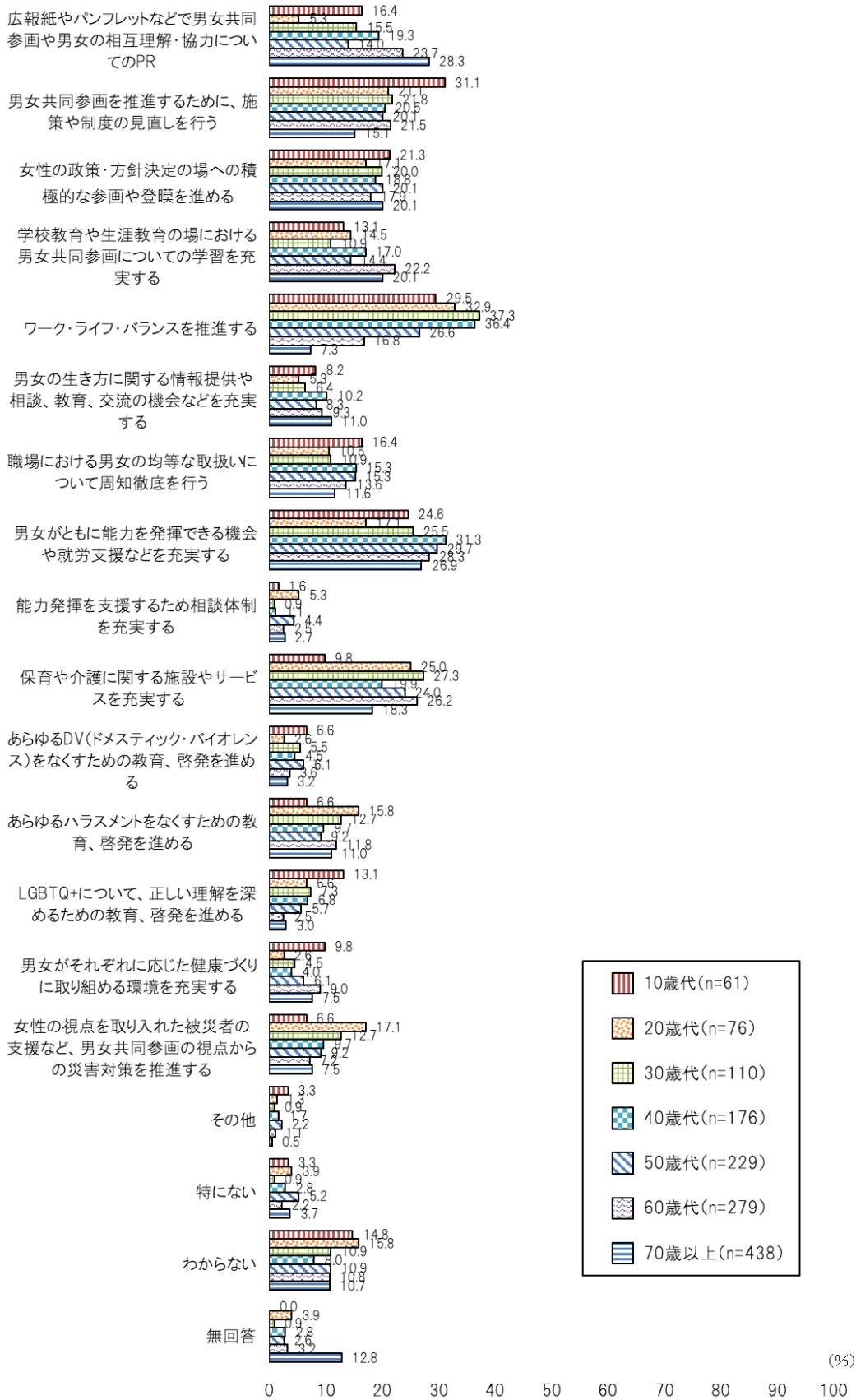
性別にみると、「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」の割合は、男性が27.4%、女性が27.2%で男性の方が女性よりも0.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」の割合は40歳代で最も高く31.3%となっており、20歳代で17.1%と最も低くなっている。

問58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか



問58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか



(%)